

千葉県立房総のむら年報

20

－平成17年度－

千葉県立房総のむら

I 使命と沿革

1. 使命

千葉県立房総のむらは、伝統的なくらしや道具、ものづくりの技を保存・継承し、新たな価値を見出し、展示や体験を通して歴史や文化を学ぶ博物館を目指します。

そして、歴史や自然を愛する心を育み、伝統文化の理解や学習、地域づくりを支援します。

- ①千葉県の原始・古代から近・現代までのくらしやものづくりに関する有形・無形の資料を収集保存して後世に伝えるとともに、調査・研究を通して新たな知見を創造します。(収集・保管、調査・研究)
- ②資料や調査研究の成果を知的財産として蓄積し、その情報を発信することによって県民と共有し、文化及び科学の発展に寄与します。(情報発信)
- ③衣・食・住・技の移りかわりを展示や体験をとおして楽しく学ぶ機会を提供するとともに、伝統的な技術や素材をこれからのくらしに生かす可能性を探ります。(学習支援、展示、体験)
- ④考古資料によって人々のくらしの移りかわりを展示し、現在やこれからの社会を考える場となります。(考古展示)
- ⑤専門性や体験を重視した生涯学習の機会を提供し、伝統文化や自然を愛する人材を育成するとともに、伝統的技術保持者や後継者の育成を支援します。(学習支援、人材育成)
- ⑥竜角寺古墳群を保護するとともに、人との関わりの中で遺されてきた里山の景観を保全します。(遺跡保護、里山保全)
- ⑦まちづくり、地域文化振興、地域おこしといった地域づくりの拠点としての役割を担います。(地域おこし)
- ⑧日本文化を海外に紹介するとともに、国際交流の場となります。(国際交流)

2. 沿革

千葉県立房総風土記の丘は各地方の歴史的・風土的な特性をあらわす遺跡が集中的に存在する地域を広域的に保存整備するとともに、資料館等の施設を設置し、周囲の自然環境と一体的に文化財の総合的・有機的な保護と活用を図ろうという国の風土記の丘構想の趣旨に沿い、かつ本県独自の構想による県立博物館設置計画の一環として設置された。

昭和44年度候補地として竜角寺古墳群一帯を選定。46年度計画策定会議の開催、用地取得、建設工事着工。48年度旧御子神家住宅・旧平野家住宅の移築復元工事完了。49年度建設工事着工。50年度9月1日教育機関として設置。旧学習院初等科正堂復元工事完了。

千葉県立房総のむらは江戸時代初期後期から明治時代初期の房総地方に伝わる商家、武家屋敷、農家などを当時の環境を含めて再現するとともに、房総地方の伝統的な技術や生活様式を直接に体験して学ぶことができる体験博物館として設置された。

昭和56年度から基本構想等の検討が行われ、59年度から建設準備が進められた。60年度から建設を開始し、61年4月1日教育機関として設置され、同日から一部公開開始。11月1日から演目等を行う本格的な活動を開始した。その後、下総・安房の農家等を設置して平成4年6月から全施設の公開を行った。

平成16年4月1日隣接するこれらの統合により恵まれた里山環境の中で原始・古代から近・現代までの衣・食・住・技の移りかわりを体験することができる博物館としての活動を開始。

II あゆみ

昭和56年度

- 4月 千葉県第2次新総合5か年計画(昭和56年度～昭和60年度)第2部第2章「千葉県文化の創造」の中の1項目として「房総のむら(仮称)」の建設が採択。千葉県教育庁文化課内を事務局とし、「房総のむら(仮称)」設置準備委員会を設置。基本構想の策定に着手。
- 2月 設置基本構想策定。

昭和57年度

- 4月 基本計画の策定に着手。
- 3月 基本計画策定。

昭和58年度

- 4月 千葉県教育庁文化課に博物館準備班(6名)設置。専従職員1名。基本計画及び一部実施計画に着手。
- 3月 基本計画報告書作成。管理棟、総合案内所、武家屋敷、町並み(商家)及び上総の農家のモデル選定。

昭和59年度

- 4月 教育庁文化課博物館準備室内(18名)に房総のむら班設置。専従職員4名。
- 11月 南側地域造成工事着手。
- 3月 資料調査報告書第1集刊行。

昭和60年度

- 4月 博物館準備室内房総のむら班員増員。専従職員8名。
- 5月 千葉県立房総風土記の丘内に現地事務所設置(現地班4名)。
- 7月 管理棟、総合案内所建築工事着手。
- 8月 めし屋、そば屋建築工事着手。
- 9月 上総の農家建築工事着手。
- 3月 管理棟、総合案内所、めし屋、そば屋竣工。資料調査報告書第2集刊行。

昭和61年度

- 4月 教育機関として「千葉県立房総のむら」設置職員16名(館長・庶務課職員は千葉県立房総風土記の丘と兼務)。総屋、めし屋、そば屋を公開開始(1日)。
- 5月 武家屋敷建築工事着手。
- 8月 小間物の店、呉服の店、お茶の店、菓子の店建築工事着手。
- 9月 上総の農家竣工。
- 10月 開館記念式典挙(28日)。
- 11月 演目等を行う本格的公開開始(1日)。開館記念事業「房総の職人たち」、「房総のまつり」開催(オランダ楽隊・加茂の花踊り・鹿野山のはしご踊り・鬼来迎・松戸の万作踊り・北風原の鞆鼓舞・大塚ばやし・西ノ下の獅子舞)。常設展「農家のくらしー砂田の年中行事ー」(上総の農家土蔵)、「道具の歴史ー大工道具ー」(総屋1階)開催。
- 12月 武家屋敷竣工。
- 1月 企画展「正月の遊び」開催(上総の農家)。本・瓦版の店、紙の店、細工の店、畳の店建築工事着手。
- 3月 小間物の店、呉服の店、お茶の店、菓子の店竣工。資料調査報告書第3集刊行。

昭和62年度

- 4月 職員増員。職員21名(館長・庶務課長は千葉県立房総風土記の丘と兼務)。企画展「房総の職人たち」開催(商家町並み)。
- 7月 酒・燃料の店、菓子の店、川魚の店、瀬戸物の

店、木工所、鍛冶屋建築工事着手。

- 9月 本・瓦版の店、紙の店、細工の店、畳の店竣工。
- 10月 武家屋敷、小間物の店、呉服の店、お茶の店菓子の店公開開始。水田整備工事着手。常設展「道具の歴史ー野鍛冶道具ー」開催。武家屋敷演武「香取神道流」、「立身流」開催。企画展「房総のまつり」開催(白間津踊り・野田のばっばか獅子舞・岩沼の獅子舞・東金ばやし)。
- 2月 酒・燃料の店、菓子の店、川魚の店、瀬戸物の店、木工所、鍛冶屋竣工。
- 3月 民俗文化財記録作成事業(16mm映画)「房総の諸職ーマイワイの社会ー」完成。水田整備工事竣工。資料調査報告書第4集刊行。

昭和63年度

- 4月 職員増員。職員33名(館長・庶務課長は千葉県立房総風土記の丘と兼務)。千葉県社会教育施設管理財団に管理・運営の一部を委託。本・瓦版の店、紙の店、細工の店、畳の店公開開始。
- 5月 企画展「大道芸ー往来の芸能者たちー」開催(ガマの油売り口上・南京玉すだれ・周防の猿まわし・江戸里神楽・角兵衛獅子)。
- 8月 北側区域造成工事着手。
- 10月 酒・燃料の店、菓子の店、川魚の店、瀬戸物の店、木工所、鍛冶屋公開開始。武家屋敷演武「関流炮術」開催。企画展「房総のまつり」開催(千倉の三番叟・鶴峯八幡の神楽・墨獅子舞・北之幸谷の獅子舞)。食体験・伝統工芸品販売開始。
- 1月 総合案内所(総屋)1階にAVガイド設置。
- 3月 民俗文化財記録作成事業(16mm映画)「房総の諸職ー竹に暮らすー」完成。資料調査報告書第5集刊行。

平成元年度

- 4月 職員増員。職員37名(館長・庶務課長は千葉県立房総風土記の丘と兼務)。
- 5月 企画展「大道芸ー往来の芸能者たちー」開催(大江戸助六太鼓・居合い抜刀術・周防の猿まわし・太神楽・曲独楽・江戸の里神楽・鉛細工)。
- 8月 バイパス橋梁工事着手。
- 10月 水車小屋、茶店建築工事着手。武家屋敷演武「小野派一刀流」開催。企画展「房総のまつり」開催(大寺の三番叟・浦部の神楽・洲崎踊り・水神社永代大御神楽)。
- 11月 郵政省「明治のポスト」設置。映画会開催(以後毎年継続)。
- 2月 橋梁名称審査会開催「むらの架け橋」に決定農村歌舞伎舞台建築工事着手。
- 3月 橋梁、水車小屋、茶店竣工。民俗文化財記録作成事業(16mm映画)「房総の諸職ー舟大工の世界ー」完成。資料調査報告書第6集刊行。

平成2年度

- 4月 職員増員。職員39名(館長・庶務課長は千葉県立房総風土記の丘と兼務)。展示解説会開催(小間物の店、本・瓦版の店、紙の店、細工の店)。
- 5月 企画展「大道芸ー往来の芸能者たちー」開催(南京玉すだれ・太神楽・周防の猿まわし・江戸の里神楽・鉛細工・曲独楽)。

- 8月 夏休み子供体験教室開催。
- 9月 下総の農家、安房の農家建築工事着工。
- 10月 武家屋敷演武「荒木流拳法」開催。企画展「房総のまつり」開催（大戸見の神楽・白枳粉屋おどり・取香の三番叟・鎌敷の神楽）。展示解説会開催（菓子の店、呉服の店、酒・燃料の店、薬の店）。
- 3月 農村歌舞伎舞台竣工。資料調査報告書第7集刊行。

平成3年度

- 5月 企画展「大道芸－往来の芸能者たち－」開催（太神楽・居合い抜刀術・周防の猿まわし・江戸の里神楽・飴細工・曲独楽）。
- 7月 夏休み子供体験教室開催。
- 9月 おまつり広場（農村歌舞伎舞台ほか）、水車小屋公開開始。
- 10月 武家屋敷演武「立身流の形」開催。展示解説会開催（菓子の店、呉服の店、酒・燃料の店、薬の店）。企画展「房総のまつり」開催（木更津ばやし・古加茂の獅子舞・笹川の神楽・梯子乗り纏と木遣り歌）。
- 12月 北側区域園路整備工事着工。北側地区植栽工事着工。
- 1月 入館者100万人突破（28日）。
- 3月 下総・安房の農家竣工。資料調査報告書第8集刊行。町並みに関する調査報告書第1集刊行。

平成4年度

- 5月 企画展「大道芸－往来の芸能者たち－」開催（和妻・太神楽・周防の猿まわし・どんつく・江戸の里神楽・飴細工・曲独楽）。
- 6月 下総・安房の農家公開開始（15日）。これにより全施設公開となる。常夜燈設置。武家屋敷演武「為我流派勝新流柔術」開催。
- 10月 企画展「房総のまつり」開催（三島の鞆鼓舞・藤原神社の獅子舞・八日市場の盆踊り・鳥見神社の神楽）。上総の農家屋根葺き替え（主屋半分・長屋門）。
- 11月 管理棟周辺整備工事（石畳）。
- 3月 資料調査報告集第9集刊行。

平成5年度

- 4月 組織改正により学芸課を普及課（6名）・商家事業課（15名）・農家事業課（10名）の3課に分割。千葉県民俗芸能緊急調査開始（国庫補助事業、平成6年度まで）。伝統芸能上演会「祭囃子」（5月・6月・9月・11月にも）開催（2月「琵琶」、3月「長唄」）。
- 5月 企画展「大道芸－往来の芸能者たち－」開催（飴細工・曲独楽・南京玉すだれ・ガマの油売り・和妻・太神楽・周防の猿まわし・どんつく・江戸の里神楽）。上総の農家屋根葺き替え（主屋半分）。火の見やぐら改修工事竣工。
- 8月 南側園路改修工事。
- 10月 企画展「房総のまつり」開催（鳥喰下大神楽・加茂の三番叟・浦安のお洒落踊り・仁組獅子舞）。武家屋敷演武「小笠原流弓術」開催。
- 3月 資料調査報告書第10集刊行。町並みに関する調査報告書第2集刊行。

平成6年度

- 4月 館長・庶務課長、千葉県立房総風土記の丘と兼務を解除。伝統芸能上演会「祭り囃子」（5月・6月・3月にも）開催（1月「三曲」）。
- 5月 企画展「大道芸－往来の芸能者たち－」開催（飴細工・針金細工・江戸紙切り・曲独楽・講釈・ガマの油売り・太神楽・周防の猿まわし・和妻・太神楽）。

- 8月 南側園路改修工事。
- 9月 農村歌舞伎舞台虹梁改修工事。
- 10月 企画展「房総のまつり」開催（熊野神社の神楽・船越鉦切神社の鞆鼓舞・佐倉囃子・大津倉のみこおどり）。武家屋敷演武「森重流砲術」開催。
- 1月 伝統芸能上演会「三曲」「祭り囃子」開催。
- 3月 企画展示「災いくるな－むらざかいの願い－」開催（水車小屋周辺の園路）。千葉県民俗芸能緊急調査終了。報告書刊行（国庫補助事業、平成5年度から）。伝統技術等記録映画制作「房総のまつり」完成。

平成7年度

- 4月 庶務課長、千葉県立房総風土記の丘兼務。伝統芸能上演会「成田囃子」（5月にも）開催（5月「佐倉囃子」）。
- 5月 企画展「大道芸－往来の芸能者たち－」開催（南京玉すだれ・オッペケベ・飴細工・曲独楽・周防の猿まわし・太神楽・和妻・ガマの油売り）。
- 10月 企画展「房総のまつり」開催（神納の神楽囃子・成田の踊り花見・海南刀切神社の鞆舞）。武家屋敷演武「直心影薙刀術」開催。町並み探検隊開催（以後毎年開催）。
- 2月 文部省委嘱事業国際交流事業開催。入館者200万人突破（16日）。
- 3月 企画展示「災いくるな！Ⅱ－境にこめた願い－」開催（水車小屋周辺の園路）。伝統技術等記録映画制作「農具づくり・醤油樽づくり」完成。茶店屋根改修工事。

平成8年度

- 4月 庶務課長、千葉県立房総風土記の丘兼務解除。伝統芸能上演会「佐倉囃子」「成田囃子」（5月にも）開催（6月狂言「附子」）。
- 5月 企画展「大道芸－往来の芸能者たち－」開催（曲独楽・和妻・周防の猿まわし・飴細工・居合い抜刀術・太神楽・南京玉すだれ）。
- 6月 千葉県民謡記録ビデオ制作事業開始（国庫補助事業、平成10年度まで）。
- 8月 全国的な「病原性大腸菌O-157による食中毒事件」により、食体験に関する演目を一時自粛する。
- 9月 一部の食体験に関する演目を再開する。
- 10月 企画展「房総のまつり」開催（西大須賀の神楽・白幡のお龍頭舞・千倉の三番叟）。武家屋敷演武「小笠原流弓術」開催。
- 11月 文部省委嘱事業国際交流事業開催（1月・2月にも）開催。
- 3月 企画展示「災いくるな！Ⅲ－むら・家・野良境の語り－」開催（水車小屋周辺の園路）。町並みに関する調査報告書第3集刊行。伝統技術等記録映画制作「張り子細工・座敷箆作り」完成。

平成9年度

- 4月 伝統芸能上演会「佐倉囃子」（10月にも）「成田囃子」（6月にも）狂言「棒縛」開催。香取郡多古町に関する調査研究開始（平成11年度まで）。
- 5月 企画展「大道芸－往来の芸能者たち－」開催（ガマの油売り・曲独楽・飴細工・寿獅子・周防の猿まわし・南京玉すだれ・太神楽）。
- 10月 企画展「房総のまつり」開催（鳥見神社の獅子舞・玉前神社の神楽・市井原の獅子舞神楽舞）。武家屋敷演武「宝蔵院流高田派槍術」開催。
- 11月 常設展示「衣・食・住・技」開設（商家町並

み2階展示室)。

- 2月 下総・安房の農家周辺に「災い除け」に関する屋外展示を開始。
- 3月 企画展示「草で作ったウマとウシⅠー七夕行事を中心にー」開催(上総の農家主屋)。伝統技術等記録映画制作「パッチ笠づくりの技」「編笠づくりの技」完成。「町と村調査研究」第1号刊行。

平成10年度

- 4月 伝統芸能上演会「佐倉囃子」「成田囃子」狂言「蝸牛」開催。
- 5月 企画展「大道芸ー往来の芸能者たちー」開催(曲独楽・ガマの油売り・周防の猿まわし・飴細工)。
- 6月 企画展示「草で作ったウマとウシⅡー七夕行事を中心にー」開催(下総の農家主屋)。
- 10月 館長、千葉県立房総風土記の丘と兼務(3月まで)。企画展「房総のまつり」開催(野田のつく舞・和泉の三役)。武家屋敷演武「柳生新陰流兵法」開催。
- 11月 常設展示「房総のまちなちーその歴史と賑わいー」開設(商家町並み2階展示室)。
- 3月 伝統技術等記録映画制作「桶づくりの技」完成。千葉県民謡記録ビデオ制作事業終了(国庫補助事業、平成8年度から)。「町と村調査研究」第2号刊行。

平成11年度

- 4月 伝統芸能上演会 狂言「附子」「成田囃子」開催(5月「佐倉囃子」、10月「成田囃子」)。商家町並みで花卉の栽培と展示を開始(4月：桜草、5月：変わりアサガオ、10月：菊、以後毎年継続)。
- 5月 企画展「大道芸ー往来の芸能者たちー」開催(飴細工・曲独楽・周防の猿まわし)。春の伝統工芸祭開催(総屋2階)。
- 6月 企画展示「草で作ったウマとウシⅢー七夕行事を中心にー」開催(下総の農家主屋)。
- 10月 企画展「房総のまつり」開催(古戸の里神楽・上原神楽囃子)。武家屋敷演武「鹿島新當流剣術」開催。企画展示「ものの再生と再利用」開催(商家2階展示室)。房総のむら感謝祭開催。
- 11月 茶道「遠州流」開催
- 12月 北側園路改修工事。
- 2月 下総の農家付近に景観展示として石造物展示場(墓地)を開設。
- 3月 伝統技術等記録映画制作「木工挽物の技」完成。香取郡多古町の調査研究が終了し、「町と村調査研究」第3号に特集号として刊行。

平成12年度

- 4月 音の再現の一環として、鐘の音の館内放送開始。
- 5月 企画展「春のまつり」開催(全施設演目実施・伝統芸能「佐倉囃子」「成田囃子」・特別行事「職人市」等)。
- 6月 企画展示「千葉県の七夕馬ー草で作ったウマとウシⅣー」開催。(下総の農家)
- 10月 企画展「秋のまつり」開催(全施設演目実施・伝統芸能「左右大神の神楽」「弥正・国府台神楽囃子」等)。入館者300万人突破(15日)。演武「日置流雪荷派弓術」開催。
- 11月 写真展「房総の職人たちー清野文男のファイダーがとらえた、伝統の技に生きる人々ー」開催。
- 3月 伝統技術等記録映画制作「藤箕作り」完成。

平成13年度

- 5月 企画展「春のまつり」開催(昔のくらしとあそび・職人市等)。
- 9月 収穫資料展「職人のわざ・ざるとかご」開催(下総の農家)。
- 10月 企画展「秋のまつり」開催(全施設演目実施・伝統芸能「伊能歌舞伎」等)。
- 11月 武芸「諏訪流放鷹術」開催。「伝統文化総合支援研究委員会」開催。
- 2月 園路改修工事。常設展示を「房総のまちなち」に展示替え(商家町並み2階展示室)。
- 3月 伝統技術等記録映画制作「醤油作り」完成。「町と村調査研究」第4号刊行。

平成14年度

- 5月 企画展「春のまつり」開催。(昔のくらしとあそび・周防の猿廻し・ちんどん・飴細工・職人市等)
- 10月 企画展「秋のまつり」開催。(伝統芸能「伊能歌舞伎」・演武「鹿島神伝直心影流」等)
- 2月 水車小屋改修工事
- 3月 伝統技術等記録映画制作「鉄づくりの技」完成。「町と村調査研究」第5号刊行。

平成15年度

- 5月 企画展「春のまつり」開催。(昔のあそび、昔のくらし・猿廻し・南京玉すだれ・飴細工職人市・映画会等)
- 10月 企画展「秋のまつり」開催。(猿廻し・民俗芸能「北辺田の獅子舞」・「台方麻賀田神社奉納神楽」・「亀崎囃子」・演武「北辰一刀流」等)千葉県生涯学習フェスティバル同時開催
- 3月 大木戸門扉改修工事。連絡通路新設工事。道路案内標識改修工事。総合案内板設置工事
- 伝統技術等記録映画制作「矢づくりの技」完成。「町と村調査研究」第6号刊行。集刊行。町並みに関する調査報告書第1集刊行。

平成16年度

- 4月 隣接する房総風土記の丘と統合(1日)。
- 5月 企画展「春のまつり」開催。(昔のくらし・昔のあそび・猿廻し・職人市・等)
- 10月 企画展「中世房総やきもの市場」開催。(5日から11月14日まで)
- 10月 企画展「秋のまつり」開催。(猿廻し・民俗芸能「塚崎の十二座神楽」「清辺の神楽」・歴史の里の音楽会・演舞「森重流砲術」等)
- 2月 伝統芸能「伊能歌舞伎」開催。
- 2月 県立美術館博物館合同企画展示「竹なが〜い友だち」開催。(12日から3月6日)
- 3月 文化庁芸術拠点形成事業堅穴住居復元。入館者400万人突破。(20日)

平成17年度

- 5月 企画展「春のまつり」開催。(昔のくらしとあそび・職人市・時代衣装変身体験等)
- 7月 上総の農家で宿泊体験開催。
- 10月 企画展「遊びー見る・作る・学ぶー」開催。(4日から11月6日まで)
- 企画展「秋のまつり」開催。(猿廻し・民俗芸能・演武「柳生心眼流體術」等)
- 伝統芸能「伊能歌舞伎」開催。里山の音楽会開催
- 3月 文化庁芸術拠点形成事業堅穴住居復元。『町と村調査研究』第8号刊行。千葉県教育振興財団が、指定管理者に決定

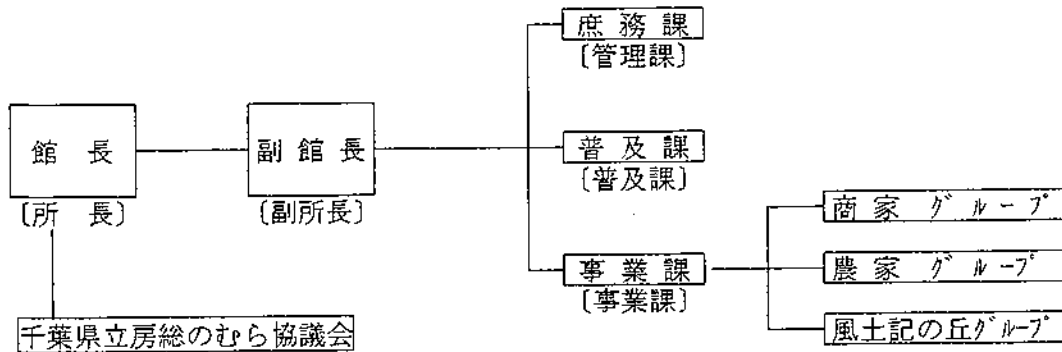
Ⅲ 管理・運営

1. 組織・職員

(1) 運営組織（組織図）

庶務課及び学芸2課の3課体制である。

[] は、(財) 千葉県社会教育施設管理財団房総のむら事業所の課名である。



(2) 千葉県立房総のむら協議会

ア 委員

(任期 平成16年7月1日～18年3月31日)

氏名	役職	備考
吉井 猛彦	印旛地区小中学校長会長	副議長
松林 謙悟	千葉県立成田西陵高等学校校長	
金子 陽子	財団法人千葉県文化財センター理事	議長
根本 久子	千葉県連合婦人会副会長	
森本 清香	栄町民生・児童委員	
中村 ひろ子	神奈川大学教授	
小川 浩之	昭和女子大学非常勤講師	
河原 純之	川村学園女子大学教授	
濱島 正士	別府大学教授	
斎藤 晴朗	千葉県経営者協会常任理事	

イ 開催状況

第1回 平成17年 7月27日(木) 出席委員8名

議題 平成17年度事業計画及び進捗状況

平成17年度利用状況

第2回 平成18年 3月 2日(木) 出席委員5名

議題 平成17年度事業の進捗状況について

平成17年度利用状況について

平成18年度事業計画(案)について

(3) 千葉県立房総のむら研究員

氏名	役職	備考
一場郁夫 大内千春 小高重吉 渡辺重次 千葉惣次 加藤藤緑	酒々井町立酒々井小学校教諭 財団法人千葉県文化財センター上席研究員 財団法人千葉県文化財センター上席研究員 国立歴史民俗博物館研究支援推進員 芝原人形四代目継承者 イラストレーター	教育利用 館蔵資料基礎調査 館蔵資料基礎調査 変化朝顔 企画展(平成17年度) 企画展(平成17年度)

(4) 職員及び事務分掌

職員数は県職員8名(館長・副館長・各課長・各グループ長)及び教育庁教育振興部文化財課から(財)千葉県社会教育施設管理財団に派遣された派遣職員22名である。

課名	職名	氏名	分掌事務
	館長 副館長	長野光男 西山太郎	
庶務課	課長 主査 副主査 副主査	高大橋幸子 久成司孝 川佳重孝 木須重理子	課内全般 会計、施設管理 会計、期間雇用職員 会計、施設管理 庶務、給与
普及課	課長 上席研究員 上席研究員 上席研究員 研究員	永沼律朗 鵜澤政仁 渡邊修一 竹内洋子 渡邊智子	課内全般 学校団体体験、広報刊行物 事業計画、教育普及 資料関係、農村歌舞伎舞台 調査統計、博物館実習
事業課 (商家グループ)	課長 グループ長 上席研究員 上席研究員 上席研究員 上席研究員 上席研究員 上席研究員 研究員	郷田良一 高橋美代子 乙竹文孝 福田久子 秋山笑子 鈴木敬子 植野百代 渋谷さゆり 山崎恵美子 猪野義信	課内全般 事業計画及び予算編成 紙の店、本・瓦版の店、武家屋敷 木工所、鍛冶屋、武家屋敷 呉服の店、小間物の店 瀬戸物の店、お茶の店 菓子の店、川魚の店 細工の店、畳の店 めし屋、そば屋 栗の店、酒・燃料の店
(農家グループ)	グループ長 上席研究員 上席研究員 上席研究員	蒨井一努 新田敬二 金田一憲	安房の農家 上総の農家 下総の農家 下総の農家
(農工記の匠グループ)	グループ長 上席研究員 上席研究員	尾崎晃信 三浦和信 田形孝一 井上哲朗	上総の農家 普及事業、調査研究事業 企画展 資料関係

(財)千葉県社会教育施設管理財団房総のむら事業所として雇用した期間雇用職員は54名である。

2. 平成17年度決算

(単位 千円)

区 分	決 算 額	備 考	
県 費	17,562	博物館協会経費、備品購入費等	
財 団 博 物 館 事 業 費	運 営 費		
	法定福利費・賃金	454	日々雇用職員賃金
	報 償 費	7,702	演目実施経費等
	旅 費	1,426	調査研究旅費等
	需 用 費	34,410	普及資料刊行経費等
	役 務 費	3,408	施設維持管理運営経費等
	委 託 料	94,046	施設維持管理運営経費等
	使用料及び賃借料	4,305	施設維持管理運営経費等
	負 担 金 支 出	65	
	租 税 公 課	19	
計	145,835		
人 件 費	379,716		
合 計	513,113		

3. 施設・設備

(1) 敷地 約51ha (約504,923㎡)

ふるさとの技体験エリアは、約19haの敷地内に江戸時代後期から明治時代初期の建物を再現しているほか、当時の景観を再現するために火の見やぐらや、地藏・稻荷の祠等の工作物も設置している。なお、東屋（休憩施設）、便所、電気・水道・防災設備等については、可能な限り再現建物、周辺環境との調和を図った施設・設備として設置していて、ベンチ・案内板・説明板・屑入れ等の小工作物も原則として素材に木を利用している。また、電気配線は受電第1柱からすべて地中配管で行っているため電柱はない。

歴史と自然を学ぶ風土記の丘エリアは、約32haに及ぶ緑豊かな里やまの自然環境の中に、数多くの古墳と共に、重要文化財を含む文化財建造物と資料館が配置されている。復元整備された竜角寺古墳群第101号古墳や、水生物園、万葉植物園、ラベンダー・コスモス畑、オリエンテーリングコース8ポスト約4km、遊歩道全長約5kmなどが整備されていて、より自然に親しむことができるよう配慮している。

駐 車 場 大型車16台 普通車357台 (4カ所)

(2) 建物

78棟 約9,045㎡ (風土記の丘資料館1棟 文化財建造物3棟 再現建物24棟 その他50棟)

(ふるさとの技体験エリア) 再現建物24棟 その他45棟

施 設 名	面積(㎡)	構 造
管 理 棟	796.81	鉄筋コンクリート造、瓦葺(地下1階73.41㎡, 1階352㎡, 2階371.4㎡)
総 (総合案内所)	502.81	鉄骨造、銅板葺 (1階 256.14㎡, 2階 246.67㎡)

施設名	面積(m ²)	構造
商 家 町 並 み	めし屋	77.76 木造, 2階建, 棧瓦葺
	そば屋	68.06 木造, 2階建, 棧瓦葺
	川魚の店	24.30 木造, 平屋, 棧瓦葺
	(附属施設)	111.24 鉄骨造, 平屋, アスファルトシングル葺
	お茶の店	77.76 土蔵造, 2階建, 棧瓦葺
	菓子の店	58.32 土蔵造, 2階建, 棧瓦葺
	(附属施設)	111.24 鉄骨造, 平屋, アスファルトシングル葺
	小間物の店	58.32 木造, 2階建, 棧瓦葺
	呉服の店	68.04 土蔵造, 2階建, 棧瓦葺
	(附属施設)	111.24 鉄骨造, 平屋, アスファルトシングル葺
	本・瓦版の店	68.04 土蔵造, 2階建, 棧瓦葺
	紙の店	77.76 木造, 2階建, 棧瓦葺
	(附属施設)	111.24 鉄骨造, 平屋, アスファルトシングル葺
	酒・燃料の店	77.76 土蔵造, 2階建, 棧瓦葺
	菓の店	58.32 木造, 2階建, 棧瓦葺
	(附属施設)	111.24 鉄骨造, 平屋, アスファルトシングル葺
	細工の店	68.04 木造, 2階建, 棧瓦葺
	畳の店	58.32 木造, 2階建, 棧瓦葺
	(附属施設)	111.24 鉄骨造, 平屋, アスファルトシングル葺
	武家 敷	瀬戸物の店
木工所		42.12 木造, 平屋, 棧瓦葺
鍛冶屋		32.76 木造, 平屋, 棧瓦葺
(附属施設)		111.24 鉄骨造, 平屋, アスファルトシングル葺
上 総 の 農 家	主屋	74.96 木造, 平屋, 鉄板葺
	離れ	44.95 木造, 平屋, 瓦葺
	(附属施設)	63.00 鉄筋コンクリート造, 平屋, 瓦葺
	主屋	192.79 木造, 平屋, 茅葺
	長屋門	35.87 木造, 平屋, 茅葺
	土蔵	45.86 土蔵造, 2階建, 瓦葺
	納屋	18.33 木造, 平屋, 鉄板葺
	馬小屋	19.52 木造, 平屋, 鉄板葺
おま つり 広場	木小屋	16.20 木造, 平屋, 鉄板葺
	作業小屋	48.60 木造, 平屋, 鉄板葺
	(附属施設)	54.16 鉄筋コンクリート造, 平屋, 瓦葺
	農村歌舞伎舞台	87.38 木造, 平屋, 茅葺
	水車小屋	28.52 木造, 平屋, 杉皮葺
	茶店	34.02 木造, 平屋, 杉皮葺

施設名		面積(m ²)	構造
下 総 の 農 家	主屋	198.26	木造, 平屋, 茅葺
	長屋門	59.50	木造, 平屋, 茅葺
	土蔵	41.23	土蔵造, 2階建, 茅葺
	灰小屋	19.87	木造, 平屋, 茅葺
	木小屋	19.87	木造, 平屋, 茅葺
	作業小屋	48.60	木造, 平屋, 茅葺
	(附属施設)	54.16	鉄筋コンクリート造, 平屋, 瓦葺
安 房 の 農 家	主屋	185.25	木造, 平屋, 茅葺
	馬小屋	36.75	木造, 平屋, 茅葺
	灰小屋	25.69	木造, 平屋, 茅葺
	(附属施設)	54.16	鉄筋コンクリート造, 平屋, 瓦葺
そ の 他	東屋(4棟)	80.19	木造, 平屋, 瓦葺(20.52m ² ×3棟, 18.63m ² ×1棟)
	便所(6棟)	176.44	平屋, 瓦葺(28.8m ² ×5棟, 30.62m ² ×1棟)
	電気室(2棟)	82.10	鉄筋コンクリート造, 平屋, 陸屋根(各41.05m ²)
	給水ポンプ室	28.37	鉄筋コンクリート造, 平屋, 陸屋根
	作業用倉庫(2)	168.01	軽量鉄骨造, 平屋, アスファルトシングル葺
	倉庫(4棟)	38.88	木造, 平屋, 瓦葺(各9.72m ²)
計		5,117.59	

(歴史と自然を学ぶ風土記の丘エリア) 資料館1棟 文化財建造物3棟 その他5棟

風土記の丘資料館	2,582.33	鉄筋コンクリート造, 陸屋根(地下1階372.33m ² , 1階1,082.68m ² , 中2階19.25m ² , 2階1108.07m ²)	
旧学習院初等科正堂 (重要文化財)	655.10	木造, 平屋, スレート及び瓦棒板銅板葺	
旧御子神家住宅 (重要文化財)	133.96	木造, 寄棟造, 平屋, 茅葺	
旧平野家住宅 (県指定有形文化財)	195.45	木造, 寄棟造, 平屋, 茅葺, 県指定文化財	
そ の 他	ポンプ室上屋	22.00	鉄筋コンクリート造, 平屋, 陸屋根
	収蔵庫	183.34	軽量鉄骨造, 平屋, アスファルトシングル葺
	便所	156.20	平屋, 陸屋根(57.6m ² ×1棟, 49.30m ² ×2棟)
計		3,928.38	

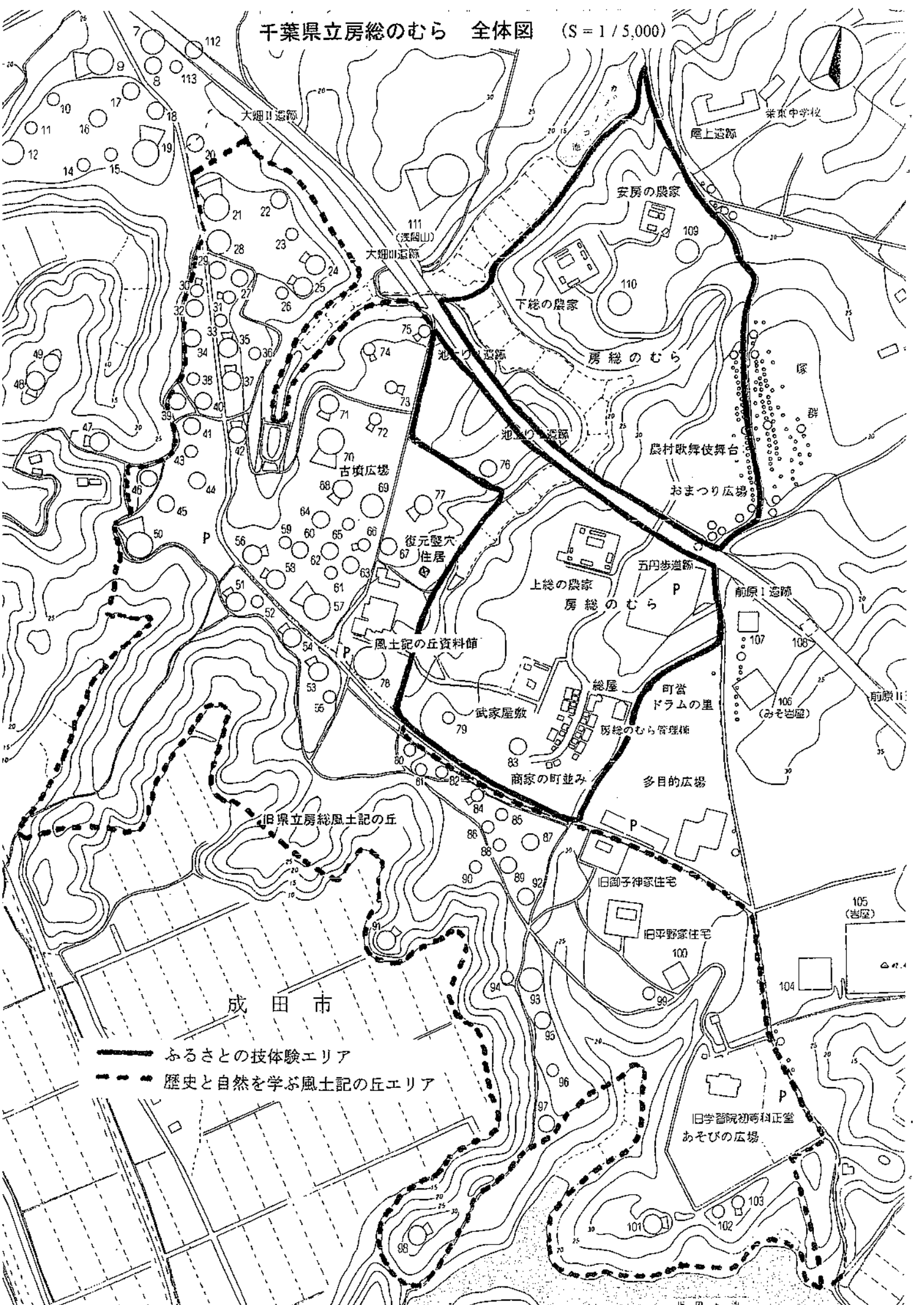
(3) 古墳群の保存・整理

古墳の墳形・規模が観察できるように、専門業者に委託して草刈りを行った。

(4) 文化財建造物の保存・整備

民家については、薪ストーブによる建物の燻蒸を夏期と冬期に実施した。

千葉県立房総のむら 全体図 (S = 1 / 5,000)



- ふるさとの技体験エリア
- - - 歴史と自然を学ぶ風土記の丘エリア

成田市

旧県立房総風土記の丘

町営
ドラムの里

五円歩道跡

安房の農家

下総の農家

上総の農家

農村歌舞伎舞台

おまつり広場

風土記の丘資料館

復元竪穴
住居

武家屋敷

商家の町並み

多目的広場

旧獅子神家住宅

旧平野家住宅

旧学習院初等科正堂
あそびの広場

105
(岩屋)

前原II

前原I遺跡

106
(みそ岩屋)

111
(溪園山)

大畑川遺跡

大畑川遺跡

池のり遺跡

池のり遺跡

古墳広場

P

P

P

P

P

P

P

P

P

P

IV 事業報告

1. 企画展等

(1) 春のまつり

5月3日(火・祝)、4日(水・休)、5日(木・祝)の3日間、「昔のくらしとあそび」をテーマに商家、武家屋敷、農家、風土記の丘資料館等の各施設で様々な実演や体験を実施した。

ア 事業内容

「昔のくらし」：蓑・笠・わらぞうり・下駄の試着

「昔のあそび」：紙鉄砲とぼし・新聞紙かぶと作り・竹馬・ペーゴマ・独楽・メンコ遊び

「伝統的技術の実演と体験」

体験：風車作り、コースター作り、甲冑試着

千代紙ろうそく、どろめんこ作り、しょうのう舟遊び(3日)

火起こし選手権(3日)、縄文ハンター(4日)、手形・足形作り(5日)

実演：ざる・かご作り(4・5日)、火起こし(3日)

「特別体験」：時代衣装変身体験、竹とんぼ作り(3・4日【国際竹とんぼ協会 千葉竹とんぼ倶楽部】)、人力車乗車体験

「生産物販売」：成田西陵高校(3日)、印旛高校(4日)、下総高校(5日)

「職人市」：穂積 実(つまみ細工)、安井永子(草木染製品)、大川功修(和菓子)

岩崎雅子(煎餅)、松崎啓三郎(浮世絵他)、鎌田芳朗(佐原張り子)

川添睦子(七宝焼)、関根五郎(桶)、玉ノ井芳雄(樽)、駒田 照(江戸独楽)

北島和男(彫刻刀他)、稲坂徳太郎(農具)

「特別販売」：昔のおもちゃ・駄菓子、葛蒲、栄町商工会即売会

「生活歳時記」展示：鯉のぼり吹き流し、端午の節供 ※日付記載のないものは全日実施

イ 体験者数(有料のみ)

4800人：風車1448人、コースター125人、甲冑試着123人、千代紙ろうそく642人、どろめんこ1471人、しょうのう舟遊び235人、火起こし選手権48人、手形・足形29人、時代衣装変身体験365人、竹とんぼ264人 (無料：縄文ハンター388人)

ウ 入館者数

15,601人(3日 5,254人、4日 5,938人、5日 4,409人)



鯉のぼり吹き流し・竹馬



時代衣装変身体験

(2) 秋のまつり

10月8日(土)、9日(日)、10日(月・祝)の3日間、「伝統的な技術や生活様式」をテーマに、商家、武家屋敷、農家、風土記の丘資料館等の各施設で演目(実演・体験)を実施した。

また、古武道や民俗芸能の上演の他、猿回しや伝統的工芸品等の特別販売を実施した。

ア 事業内容

「伝統的技術の実演と体験」

体験：風車作り、機織りコースター作り、さつまいも掘り、千代紙ろうそく、どろめんこ作り、割箸鉄砲作り、折り紙作り(手裏剣・紙鉄砲)、勾玉作り、火起こし、縄文ハンター、折り紙手裏剣遊び、ススキ矢、松葉相撲、草笛遊び、陣取り、二人綱引き、ねつき、紙相撲、福笑い、双六、将棋、お手玉、砂場ままごと、草履・下駄試着、竹とんぼ、飛行機作り、けん玉遊び、大縄跳び、むかでじゃんけん、花いちもんめ・だるまさんが転んだ、タガ回し、ビー玉、竹馬、羽子板、フラフープ、ゴム跳び、竹の紙鉄砲とぼし、ベーゴマ、独楽、メンコ、石蹴り、ケンパ、あやとり、おはじき、どんぐりコマ作り、ブンブンゴマ、糸巻きタンク

実演：米俵作り、ざるかご作り(9・10日)、
太巻き寿司、火起こし(10日)
企画展解説会(9日)

「古武道(演武)」

○柳生心眼流體術(8日)

- ・演者：荒木堂十一世 梶塚靖司ほか12名
- ・柔道・長刀術・剣術・居合・棒術等を含む総合武術で、実践的で必要な武術すべてを体得するという戦国時代の実践的な武術の伝統を残している。

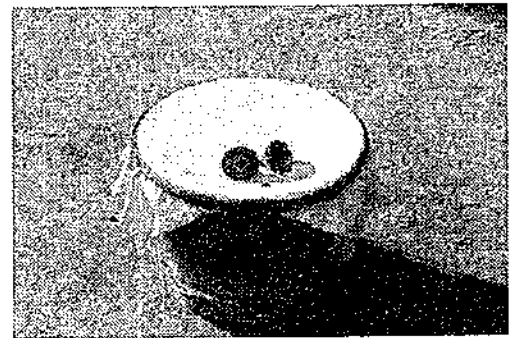
「民俗芸能の上演」(9日 農村歌舞伎舞台)

○佐山の獅子舞(八千代市佐山)

- ・演者：佐山獅子舞保存会
- ・秋のお彼岸に熱田神社と妙福寺で行われ



折り紙作り(手裏剣)



独楽



柳生心眼流體術

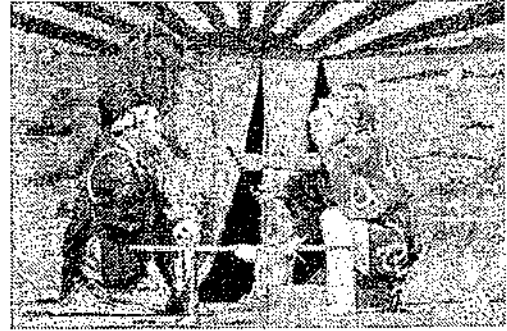


佐山の獅子舞

ている獅子舞を上演した。親獅子・中獅子・女獅子による三匹獅子舞で、五穀豊穡や疫病退散を祈願したものである。

○下小野の神楽(佐原市下小野)

- ・演者：下小野神楽会
- ・下小野で4月に大遊び、春祈願として奉納される二人立ち獅子舞を中心とした芸能で、「幣束の舞」と「鬼と鍾馗」を上演した。



下小野の神楽

「大道芸」：猿廻し(10日)

「特別体験」：時代衣装変身体験、人力草乗車体験、レトロ写真館

「生産物販売」：下総高校(8日)、成田西陵高校(9日)、印旛高校(10日)

「職人市」：大川功修(菓子)、岩崎雅子(煎餅)、鎌田芳朗(佐原張り子)、川添睦子(七宝焼)、駒田照(江戸独楽他)、玉ノ井芳雄(樽)、関根五郎(桶)、北島和男(ラシャ切り鋏他)、大野正敏(植木鋏他)、稲坂徳太郎(農具)

「特別販売」：昔のおもちゃ・駄菓子※日付記載のないものは全日実施

イ 体験者数 (有料のみ)

420人：風車103人、機織りコースター41人、千代紙ろうそく120人、どろめんこ125人、勾玉作り13人、火起こし18人、

ウ 入館者数

1,924人(8日 844人、10日 543人、11日 537人)

(3) 平成17年度企画展「遊び-見る・作る・学ぶ-」

ア 概要

・開催期間

平成17年10月4日(火)～11月6日(日)

開催日数 30日間、見学者数34,043人

・会場 千葉県立房総のむら

・内容

昭和30年代を中心に、「見る」・「作る」・「学ぶ=遊んで考える」をテーマとし、風土記の丘資料館における展示と一体化して、房総のむらの広大な敷地と多様な空間を活用した企画とな



大木戸に設置された看板

った。また、当時の遊びに因んだ体験や実演、当時の遊び場を再現し、昔懐かしい遊びに興じてもらうなどの実体験を通して、「遊び」の歴史や意義を紹介した。

イ 構成

I プロローグ

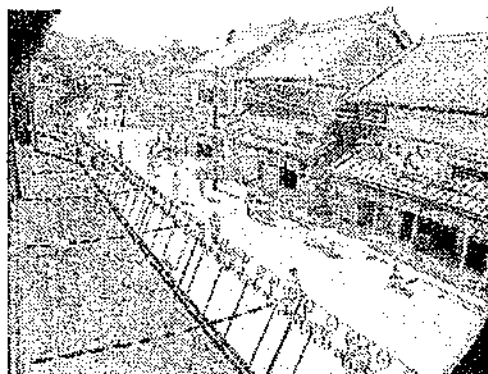
* 導入（昭和30年代の町並み景観、自動車、駄菓子屋等、新幹線、東京オリンピック等関連資料展示＝総屋、資料館）

II 遊びの景観と空間（昭和30年代の電柱、店先看板等商家、農家における景観再現）

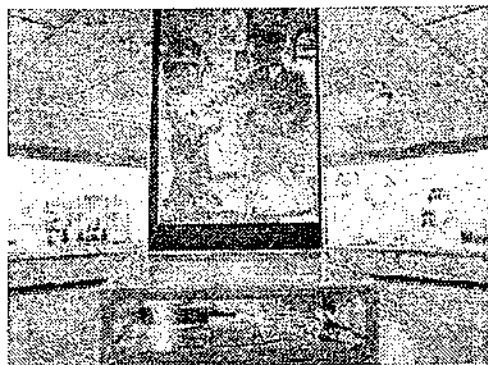
III 遊べや遊べ（資料館、農家、商家、広場、路地等における室内遊び、草花遊び、工作遊び等を実施）

IV あの日に帰りたい遊び（風土記の丘資料館2Fにおいて、江戸時代～昭和30年代の遊び道具、図絵、写真資料などを展示）

V エピローグ（遊び道具、駄菓子等を買う場所を設置して買ってもらい、家で遊んだり話題にしたりしてもらう）



昭和30年代の町並み再現



資料館展示風景

ウ 関連印刷物

- ・ポスター・チラシ、展示解説図録、解説リーフレット

エ 関連行事

- ・展示解説会 会期中毎土・日曜日
講師：当館学芸員
- ・秋のまつり、ふるさと祭りにおける関連催事
- ・土、日、祝休日における関連催事（駄菓子の販売、綿菓子製作体験、「くじ付き房総のむら案内図」の配布と当選者への記念品贈呈等）



遊び道具にふれる体験（ゴムでっぼう）

2. 展示・演目の展開

(1) 商家町並み

ア 演目の展開

本年度商家町並みで実施した各演目は下表のとおりである。

なお、実施日数欄の括弧内は体験者を募集して実施した日数である。また、体験者数欄における「延べ人数」は、講座などのように複数回で一つの演目を体験する場合の延べの数である。

(7) めし屋 (かど屋)

演 目 名		指 導 者	実施日数	体験者数
季 節 の た 素 材 を	山菜の料理 (実演・体験)	館職員	3 (2)	6
	あさりの料理 (実演・体験)	館職員	3 (2)	6
	いわしの料理 (実演・体験)	館職員	3 (2)	5
	山芋の料理 (実演・体験)	館職員	3 (2)	3
	落花生の料理 (実演・体験)	館職員	3 (2)	15
	ごぼうの料理 (実演・体験)	館職員	3 (2)	2
行 事 食	太巻き寿司 (実演・体験)	石井みつ子・館職員	15 (12)	112
	えびす講の料理 (実演)	館職員	1	—
	節供の料理 (実演)	館職員	1	—
	節分の料理 (実演)	館職員	1	—
	小正月の料理 (実演)	館職員	1	—
	初午の料理 (実演)	館職員	1	—
子ども郷土料理教室 (体験)		館職員	12 (12)	76
太巻き寿司講習会 (体験)		増谷菊子	6 (6)	55
おにぎり (体験)		館職員	13 (13)	188
かまど炊きのおにぎり (体験)		館職員	20 (20)	121
稲荷寿司 (体験)		館職員	10 (10)	47
計			99 (85)	636

(イ) そば屋 (いんば)

演 目 名	指 導 者	実施日数	体験者数
茶そば (実演・体験)	高津幸枝	3 (3)	22
天ぷらそば (実演・体験)	館職員	3 (3)	9
盛りそば (実演・体験)	館職員	24 (24)	94
盛りそば [いもつなぎ] (実演・体験)	館職員	3 (3)	7
ゆず切りそば (実演・体験)	高津幸枝	3 (3)	32
そば打ち (体験)	館職員	21 (21)	414
干しうどん (実演・体験)	高津幸枝	6 (6)	23

演 目 名	指 導 者	実施日数	体験者数
石臼挽き (体験)	館職員	23 (23)	231
そばがき (体験)	館職員	60 (60)	703
計		146 (146)	1535

(ウ) 川魚の店 (かとり屋)

演 目 名	指 導 者	実施日数	体験者数
うなぎの蒲焼き (実演・体験)	根本貫一	9 (9)	137
すずめ焼き (実演・体験)	金子長司	3 (3)	3
どじょう料理 (実演・体験)	高木初江	3 (3)	0
なまず料理 (実演)	館職員	2	—
鮎料理 (実演・体験)	高梨喜一郎	5 (5)	93
鯉料理 (実演・体験)	高木初江	4 (4)	9
もくずがに料理 (実演・体験)	高梨喜一郎	5 (4)	36
計		31 (28)	278

(エ) お茶の店 (山辺園)

演 目 名	指 導 者	実施日数	体験者数
煎茶作り (実演・体験)	小室周平・見越政広	2 (2)	18
抹茶作り (体験)	館職員	23 (23)	258
ほうじ茶作り (体験)	館職員	76 (76)	1196
煎茶の合 (体験)	館職員	11 (11)	82
計		122 (122)	1554

(オ) 菓子の店 (あまはや)

演 目 名	指 導 者	実施日数	体験者数
夏休みお菓子教室 (体験)	館職員	3 (3)	48
柏餅 (実演・体験)	大川功修	2 (2)	44
よもぎのお菓子 (草餅) (実演・体験)	大川功修	1 (1)	20
よもぎのお菓子 (よもぎ餅) (実演・体験)	大川功修	1 (1)	6
祝い菓子 (実演)	大川功修	2	—
焼き菓子 (実演)	大川功修	1	—
練切り (実演・体験)	大川功修	2	—
和菓子講習会 (体験)	大川功修	1 (1)	14
昔ながらのカステラ焼き (体験)	館職員	6 (6)	37

演 目 名	指 導 者	実施日数	体験者数
花餅 (実演・体験)	館職員	3 (3)	2
だんご (実演・体験)	館職員	3 (3)	26
桜餅 (実演・体験)	大川功修	2 (2)	18
蒸し菓子〔黄味時雨〕 (実演・体験)	大川功修	1 (1)	4
蒸し菓子〔饅頭〕 (実演・体験)	大川功修	1 (1)	8
煎餅作り (実演・体験)	岩崎雅子	6 (6)	22
小さな打ち菓子 (体験)	館職員	35 (35)	444
練切り講習会 (体験)	大川功修	1 (1)	8
カルメ焼き (体験)	館職員	4 (4)	35
葛切り (体験)	館職員	17 (17)	146
白玉だんご (体験)	館職員	50 (50)	484
計		257 (252)	3529

(h) 小間物の店 (くるり)

演 目 名	指 導 者	実施日数	体験者数
組紐〔キーホルダー〕 (実演・体験)	佐久間さち子	4 (4)	23
組紐〔巾着紐〕 (実演・体験)	佐久間さち子	1 (1)	8
組紐〔眼鏡紐〕 (実演・体験)	佐久間さち子	4 (4)	39
組紐〔帯締〕 (実演・体験)	山崎菊江	5 (4)	5
組紐〔組紐講習会〕 (体験)	佐久間さち子	4 (4)	16
匂袋 (実演・体験)	戸津富子	2 (2)	12
巾着袋 (実演・体験)	戸津富子	2 (2)	11
つまみ細工 (実演・体験)	穂積 実	2 (2)	8
根付 (実演)	天野康郎	2	—
手まり	水田富子・加藤ミサ子・館職員	16 (16)	28
くくり猿 (体験)	館職員	29 (29)	337
飾り結び (体験)	館職員	41 (41)	608
計		112 (99)	1095

(k) 呉服の店 (上総屋)

演 目 名	指 導 者	実施日数	体験者数
しぼり染 (実演・体験)	大津翠	6 (6)	14
藍の生葉染 (体験)	館職員	6 (6)	32
刺子 (実演・体験)	戸津富子	5 (5)	13
和裁 (実演)	戸津富子	2	—
型染 (実演・体験)	安井永子	12 (12)	延べ 84

演 目 名	指 導 者	実施日数	体験者数
藍染講座 (体験)	館職員	中止	—
木版染 (体験)	館職員	39 (39)	438
紅染 (実演・体験)	安井永子	1 (1)	10
針さし (体験)	館職員	5 (5)	3
作務衣作り (体験)	戸津富子	2 (6)	延べ 22
うっし染 (体験)	館職員	18 (18)	275
合羽摺り (体験)	館職員	35 (35)	491
計		179 (178)	2424

(ウ) 本・瓦版の店 (葛飾堂)

演 目 名	指 導 者	実施日数	体験者数
浮世絵の摺り (実演・体験)	松崎啓三郎	6 (6)	39
版木 [年賀状] (体験)	石井寅男	6 (6)	26
版木 [はがき絵] (体験)	石井寅男	2 (2)	5
版木 [千社札] (実演・体験)	石井寅男	2 (2)	4
和製本 (実演)・和製本 [和本] (体験)	鈴木昭代	5 (3)	12
和製本 (実演)・和製本 [帙] (体験)	鈴木昭代	3 (2)	5
浮世絵講習会 (体験)	松崎啓三郎	6 (6)	延べ 30
こよみ作り (体験)	館職員	12 (12)	55
多色摺り [風景画] (体験)	館職員	31 (31)	100
多色摺り [美人画] (体験)	館職員	37 (37)	106
和綴じ (体験)	館職員	27 (27)	98
計		137 (134)	480

(エ) 紙の店 (平群屋)

演 目 名	指 導 者	実施日数	体験者数
紙漉き (実演)・紙漉き [半紙] (体験)	松本勝	4 (4)	14
紙漉き (実演)・紙漉き [はがき] (体験)	松本勝	3 (3)	11
紙漉き [和製本] (体験)	松本勝	1 (1)	6
和紙作り講習会 (体験)	松本勝	2 (2)	延べ 16
折り紙 (実演・体験)	長谷川市太郎	4 (4)	27
紙人形 (実演・体験)	斉藤隼子	4 (4)	7
押し絵 (実演・体験)	斉藤隼子	2 (2)	10
季節の折り紙 (体験)	館職員	48 (48)	458
紋切り型 (体験)	館職員	50 (50)	855
計		118 (118)	1404

(ロ) 酒・燃料の店 (下総屋)

演 目 名	指 導 者	実施日数	体験者数
和ろうそく (実演・体験)	増田かほる	8 (8)	15
杉玉・三杉玉作り (実演・体験)	吉野正作	6 (6)	21
果実酒・健康酒造り (実演・体験)	菅谷敦子	4 (4)	11
絵ろうそく (体験)	館職員	2 (2)	38
ランタンろうそく (実演・体験)	増田かほる	4 (4)	16
千代紙ろうそく (体験)	館職員	280 (280)	7562
計		304 (304)	7663

(ハ) 薬の店 (佐倉堂)

演 目 名	指 導 者	実施日数	体験者数
薬 (実演)	柴崎正治・高橋喜世司	29	—
野草茶 (体験)		14 (14)	18
十一味唐辛子 (体験)	中嶋純代・見尾一作	14 (14)	40
七味唐辛子 (体験)	館職員	47 (47)	306
しょうのう舟 (体験)	館職員	9 (9)	84
計		113 (84)	448

(シ) 細工の店 (きよすみ)

演 目 名	指 導 者	実施日数	体験者数
かご・ざる (実演・体験)	間野政勝	5 (5)	39
張り子 (実演・体験)	鎌田芳朗	6 (6)	10
夏休み張り子教室 (実演・体験)	鎌田芳朗	4 (4)	延べ20
房州うちわ〔木綿布〕 (体験)	太田美津江	6 (6)	26
房州うちわ〔紙〕 (体験)	太田美津江	6 (6)	47
べっ甲細工 (体験)	矢吹覚	2 (2)	7
張り子講習会 (体験)	館職員	10 (10)	延べ16
楊枝 (実演・体験)	森隆夫	4 (4)	14
矢作り (実演)	鳥山貞	1	—
鎧作り (実演)	加藤良	1	—
竹細工講習会 (体験)	間野政勝	9 (9)	37
竹とんぼ作り	間野政勝	2 (2)	18
篠笛作り (実演・体験)	赤坂明	3 (3)	26
篠笛講習会 (体験)	赤坂明・佐原囃子連中	2 (2)	20

演 目 名	指 導 者	実施日数	体験者数
凧作り (体験)	川崎 泰	1 (1)	6
張り子の面描き (体験)	館職員	11 (11)	129
こけしの絵付け (体験)	館職員	6 (6)	16
だるまの面描き (大) (体験)	館職員	13 (13)	78
だるまの面描き (小) (体験)	館職員	13 (13)	96
張り子金魚の絵付け (体験)	館職員	7 (7)	187
張り子うさぎ・犬の絵付け (体験)	館職員	73 (73)	1161
計		185 (183)	1953

(λ) 畳の店 (安房屋)

演 目 名	指 導 者	実施日数	体験者数
畳作り (実演)	加藤隆・篠辺実・田中征勝・米井仁	5	—
花瓶敷 (体験)	館職員	3 (3)	1
畳のコースター作り (体験)	館職員	44 (44)	1117
計		52 (47)	1118

(ε) 瀬戸物の店 (すゑや)

演 目 名	指 導 者	実施日数	体験者数
やきもの作り (実演)	原泰弘・小杉仁志・館職員	43	—
絵付け (体験)	館職員	26 (26)	303
製陶 [手びねり] (体験)	館職員	88 (28)	189
製陶 [蹴ろくろ] (体験)	館職員	27 (27)	92
やきもの作り (体験)	館職員	27 (27)	延べ184
土人形 (実演・体験)	千葉惣次・館職員	33 (16)	延べ29
土人形 [色つけのみ] (体験)	千葉惣次	8 (8)	24
七宝焼 (実演・体験)	川添睦子	9 (9)	43
夏休み七宝焼教室 (体験)	川添睦子	3 (3)	20
金つぎ (実演)	立和名啓人	2	—
蹴ろくろ講座 (上級)	館職員	157 (157)	171
製陶 (体験)	館職員	21 (21)	75
絵付け [小皿] (体験)	館職員	8 (8)	394
小さな土人形 (体験)	館職員	6 (6)	94
計		380 (336)	1618

(g) 木工所（長柄屋）

演 目 名	指 導 者	実施日数	体験者数
桶（実演）	関根五郎	6	—
左官の技（実演）	大崎英夫	4	—
下駄（実演・体験）	岩館傳	6（6）	21
ミニ樽のキーホルダー（体験）	館職員	6（6）	37
木工挽物〔江戸独楽〕（体験）	駒田照	4（4）	113
樽〔樽カップ〕（体験）	玉ノ井芳雄	2（2）	4
桐箆筥（実演リハーサル）	林稔	2	—
大工の技（実演）	岩瀬繁	6	—
樽〔そば猪口〕（体験）	菅谷又三	2（2）	6
木工挽物〔江戸独楽〕（実演）	駒田照	4	—
計		44(20)	181

(h) 鍛冶屋（夷隅屋）

演 目 名	指 導 者	実施日数	体験者数
農具（実演）	鈴木啓支	2	—
鋏（実演）	宇梶國雄	2	—
文鎮（体験）	館職員	1（1）	0
彫刻刀（体験）	北島和男	6（6）	10
篆刻刀（体験）	北島和男	5（5）	14
小刀（体験）	佐藤義隆・大野正敬・鈴木啓支・北島和男	16（16）	27
草取鎌（体験）	稲坂徳太郎	9（9）	17
刃物作り入門（体験）	館職員	9（9）	10
夏休み親子鍛冶屋教室（体験）	館職員	8（8）	30
ペーパーナイフ（体験）	館職員	25（25）	25
計		68（64）	133

(f) 年中行事

演 目 名（施設）	指導者	実 施 日	内 容
端午の節供（町並み）	館職員	6月20・22～23日	展 示
土用の丑（川魚の店）	根本貫一	7月21日	実 演
盆準備（細工の店）	奥主定男・八重	7月28・29日	実 演
盆の商い（総屋）	館職員	8月27日～29日	展 示
七夕	館職員	8月21日・22日	展 示
えびす講（呉服の店）	館職員	11月30・12月1・2日	展 示
ふいご祭（鍛冶屋）	館職員	12月18・19日	展 示

演目名	指導者	実施日数	体験者数
正月の準備（町並み）	吉野正作	2月4～6日	実演
節分（町並み）	館職員	2月2・3日	展示
正月（町並み）	館職員	2月9～22日	展示
小正月（町並み）	館職員	2月22・23日	展示
太子講（畳の店・木工所）	館職員	2月26・27日	展示
初午（稲荷）	館職員	2月9～11日	展示
針供養（地蔵堂）	館職員	3月15～17日	展示

(ウ) 江戸の花卉

演目名（施設）	指導者及び実施者	実施日	内容（参加者数）
変朝 わ顔 り 咲 き	変わり咲き観物の育て録 集録（後編） 観顔サポーター（辻広場）	館職員	4月下旬～8月下旬 種子配布・展示（12名）
	変わり咲き観顔展示（辻広場）	館職員	7月下旬～9月上旬 種子・用具貸出・展示（17名）
	観顔図譜の世界（総屋一階）	館職員	7月下旬～9月上旬 展示
	観顔図譜の世界（総屋一階）	館職員	7月16日～8月31日 展示
さくら草（辻広場）	館職員	4月上旬～5月上旬	展示
江戸菊・小菊（辻広場）	島田誠司・館職員	10月下旬～11月上旬	展示

イ 新規演目

(7) 葉の店「しょうのう舟（ふね）」

しょうのう舟は、虫除け等に使用する樟脳をプラスチックの舟の後ろにつけて、水面を走らせる遊び道具である。

体験では、小さな舟を作り、遊ぶ工程までを行った。

実際に行ってみると、屋外に近い環境では風やゴミ等の影響を受けやすく、思ったように動かないことが多かった。

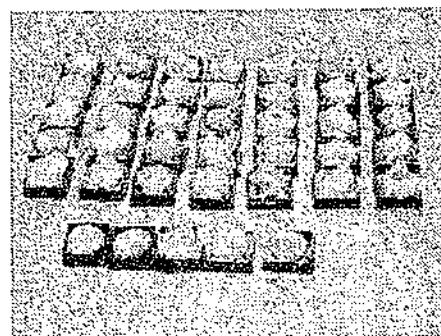
また、揮発性である樟脳が目や鼻、喉に刺激を与えるため、体験者の指摘もあり、7月以降は中止した。



しょうのう舟

(4) 葉子の店「練切り講習会」

大和芋を練り込んだ本格的な練切り餡作りの講習を指導者から受けた後、体験者各自がデザインを考え、草花や動物などをあしらった練切りを作り出した。指導者が持参した練切り用の小道具を用いての演出や、色粉による練切り餡の色つけなど、それぞれの感性で一つ一つの練切りを仕



練切り講習会

上げていった。製品が完成すると体験者がそれぞれの作品を批評しあい、最後に指導者から講評を受けた。

(ウ)紙の店「紋切り型」

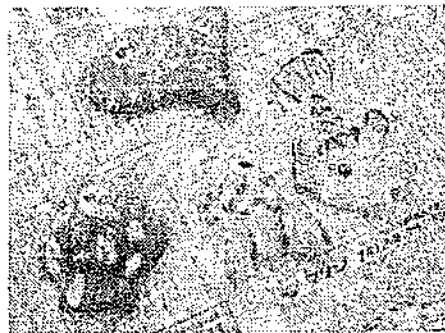
一枚の紙を何回か折り、型紙を貼り付けて切り抜く体験。広げて出来上がった文様は、紙袋に貼ったり、クリアケースに入れて持ち帰った。本来、紋は型染めや刺繍で、布に表現していた。江戸時代に折りたたんだ紙を切ることができる文様の面白さや美しさから遊びになった。体験では、鋏で切り抜くことのできる文様を選んだため、幼児から体験が可能で所要時間も15分ほどのため、子供に人気があった。



紋切り型

(エ)細工の店「張り子金魚の絵付け」

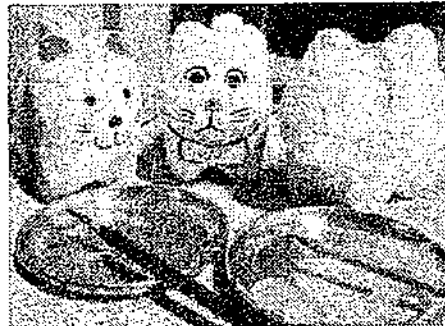
伝統的な郷土玩具・張り子にちなんで、夏休み期間に限定して張り子金魚の絵付けの体験を実施した。すでに、様々な色で色付けされた金魚に、思い思いに目やウロコ、ヒレなどを絵付けしてもらった。幼児や小学生などの親子連れや年配者まで気楽に絵筆をとってもらった。精密な機械玩具が多いなかで、素朴な張り子の温かみに昔を懐古する年配者も多く、体験者に楽しんでもらうことができた。



張り子金魚の絵付け

(オ)細工の店「張り子犬の絵付け」

今年の干支の戌年にちなんで、張り子の犬に自由に絵付けする体験を実施した。大きさも手ごろで15分～20分の所要時間から、気軽に体験できる演目として多くの参加者があった。材料はすべて購入により賄うことができたため、これまで体験用の張り子を館ですべて製作していた方法と比べ、体験用張り子の在庫不足を理由に体験を中止することなく実施できるようになった。



張り子犬の絵付け

(カ)木工所「桐箆筥」

木工所の関係職人の高齢化が進む中、新たな演目開発として桐箆筥製作のリハーサルを行った。和箆筥の特徴は、大型のものでも重ねたり分離ができ、移動しやすいことである。代表的な材料は桐であり、かつては県内でも多く栽培され、製作に用いられた。箆筥の製作工程は、①木取り②証寄せ③刳ぎ加工④寸法決め⑤板仕上げ⑥組み立て⑦塗装⑧金具付け等であるが、今回は⑥から⑧までの作業工程を中心に実施した。



桐箆筥

ウ 展示活動

(7) 商家町並み常設展示

- ・テーマ そば屋「食-郷土の味-」
- ・呉服の店「藍と布」
- ・薬の店「薬・くすり・クスリ」
- ・本・瓦版の店「浮世絵-彫りと摺り-」
- ・細工の店「竹と暮らす」
- ・小間物の店「髪飾りと結髪」
- ・酒・燃料の店「房総の酒造り」
- ・菓子の店「和菓子を作る」
- ・紙の店「生活の中の和紙」

- ・概要 平成14年度から1階店先展示と関連付けた内容で、各店に関係する原料、製作工程、道具、技術、製品の販売や流通、年中行事などを紹介している。その際資料の借用は原則的に行わなわず、資料の製作や購入等で資料の補足を行うことにしているが、今年度については資料の追加等はなく昨年と同様の展示を継続して行った。

(2) 武家屋敷

ア 演目の展開

本年度武家屋敷で実施した各演目は、下表のとおりである。

なお、実施日数欄の括弧内は体験者を募集して実施した日数である。

演 目 名	指 導 者	実施日数	体験者数
演武（実演）	梶塚靖司ほか	1	—
甲冑試着（体験）	館職員	297（297）	1294
茶道入門（体験）	館職員	199（199）	1022
茶道講習会（体験）	館職員	12（12）	延べ41
子供茶道教室（体験）	館職員	6（6）	24
計		515（515）	2381

イ 年中行事

演 目 名	指 導 者	実 施 日	内 容（体験者数）
雛祭り	館職員	4月9・10日	展 示
端午の節供	館職員	6月11・12日	展 示
盆	館職員	8月17～19日	展 示
十五夜	館職員	9月17・18日	展 示
十三夜	館職員	10月14・15日	展 示
節分	館職員	2月2・3日	展 示
正月の準備 正月	館職員	1月24～25・27～29・ 31日・2月5・7～10日	展 示
初午	館職員	3月9日～11日	展 示

(3) 農 家

ア 演目の展開

本年度農家で実施した各演目は、下表のとおりである。

なお、実施日数欄の括弧内は体験者を募集して実施した日数である。また、体験者数欄における「延べ人数」は、講座などのように複数回で一つの演目を体験する場合の延べの数である。

a 農事暦

農家における主な作物の栽培記録と各演目は下表のとおりである。

なお、(上)は上総の農家、(下)は下総の農家、(安)は安房の農家で栽培したこと、また、

●は播種、▲は植付け、■は収穫を示す。

作物	月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
水稻(上・下)		●●	▲ ▲ ▲▲				■ ■ ■ ■ ■ ■						
大麦(上・安)			■ ■					● ●					
小麦(上・安)				■ ■					●				
ジャガイモ(上・安)				■ ■									●
サツマイモ(上・安)	●	▲▲ ▲▲						■ ■ ■ ■ ■					
キュウ(上・安)		▲▲			■ ■								
ナス(上・下・安)		▲▲			■ ■								
アワ(上・安)			●				■ ■						
大豆(上・下)			● ● ● ● ● ●					■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■					
ソバ(上・安)	●●		■ ■ ■ ■			● ● ●		■ ■ ■ ■ ■ ■					
大根(上・下・安)	●		■				● ●		■ ■				●
ヒエ(上・下)		● ●					■ ■						
コンニャクイモ(下)	●								■				
かぼちゃ(下・安)	●	▲▲				■		■					
ウリ(下)		●				■							
落花生(上・下)		●						■ ■					
キビ(上・安)		●					■ ■						
小豆(上・下・安)			● ● ● ● ● ●			■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■							
モロコシ(下・安)		● ●					■ ■						
ラッキョウ(上・安)			■			●							

以下の表の実施日数の欄の()は、体験の実施日数である。

	演 目 名	指 導 者	実 施 日 数	体 験 者 数	
上 の 農 家	米 作	①田植え (体験)	館職員	2 (2)	98
		②稲刈り (体験)	館職員	1 (1)	95
		③稲の脱穀と籾摺り・俵詰め (体験)	館職員	2 (2)	98
		粟と稗の収穫 (体験)	館職員	2 (2)	11
		親子農家の一日 (体験)	館職員	4 (4)	20
		堆肥作り (体験)	館職員	2 (2)	延べ7
		炭焼き〔伏せ窯〕 (体験)	館職員	5 (5)	延べ10
		炭焼き〔大窯〕 (実演・体験)	館職員	21 (6)	延べ10
		じゃがいも掘り (体験)	館職員	6 (6)	675
		小 計		45 (45)	1024
下 の 農 家	米 作 り	①種蒔き (体験)	館職員	1 (1)	0
		②田植え (体験)	館職員	1 (1)	52
		③稲刈り (体験)	館職員	1 (1)	2
		④稲の脱穀と籾摺り・俵詰め (体験)	館職員	1 (1)	13
		通年米作り (体験)	館職員	4 (4)	延べ48
		落花生作り (体験)	館職員	4 (4)	延べ31
		菜種油絞り (実演)	館職員	1	—
		落花生の収穫 (体験)	館職員	2 (2)	115
		親子農家の一日 (体験)	館職員	2 (2)	8
		小 計		17 (16)	269
安 房 の 農 家		さつまいも掘り (体験)	館職員	29 (29)	338
		親子農家の一日 (体験)	館職員	2 (2)	9
		らっきょう作りとらっきょう漬け (体験)	館職員	2 (2)	延べ20
		大豆の収穫 (体験)	館職員	2 (2)	12
		小 計		35 (35)	379
			97 (96)	1672	

6 食品加工

	演 目 名	指 導 者	実 施 日 数	体 験 者 数	
上 の 農 家		手もみ茶 (体験)	館職員	2 (2)	27
		梅干し作り (体験)	館職員	2 (2)	2
		醤油作り (体験・実演)	内海信義・館職員	4 (2)	延べ12
		小 計		8 (6)	41
下 の 農 家		ばらっば饅頭作り (小麦刈り) (体験)	館職員	2 (2)	8
		こんにゃく作り (体験)	館職員	2 (2)	17

	演 目 名	指 導 者	実 施 日 数	体 験 者 数
下 総	味噌作り (体験)	館職員	4 (4)	延べ13
	小 計		8 (8)	38
安 房 の 農 家	普段の食事 (実演・展示)	館職員	8	—
	芋餅作り (体験)	館職員	2 (2)	9
	豆腐作り (実演)	館職員	2	—
	もろこし・きび団子作り (体験)	館職員	1 (1)	6
	たくあん漬 (実演)	館職員	1	—
	小 計		14 (3)	15
計			30 (17)	94

c 手工芸

	演 目 名	指 導 者	実 施 日 数	体 験 者 数
上 総 の 農 家	わらぞうり作り (実演・体験)	館職員	8 (8)	13
	竹の皮ぞうり作り (体験)	館職員	6 (6)	11
	なべ敷き作り (体験)	館職員	4 (4)	9
	米俵作り (実演)	大竹正夫・館職員	4	—
	柿渋作り (実演・体験)	館職員	3 (2)	9
	上総のお飾り作り (体験)	館職員	2 (2)	39
	くまで作り (実演)	大野 昇	1	—
	ゆうがお細工 (体験)	館職員	4 (4)	23
	竹ぼうき (実演・体験)	大野 昇	3 (2)	3
	小 計		35 (28)	107
下 総 の 農 家	機織り [テーブルセンター] (体験)	館職員	52 (52)	226
	機織り [テーブルセンター大] (体験)	館職員	12 (12)	33
	機織り [コースター] (体験)	館職員	39 (39)	302
	機織り (実演)	館職員	38	—
	機織り [綾織り、花瓶敷] (体験)	館職員	13 (13)	9
	木綿糸作り (体験)	館職員	1 (1)	4
	子供木綿糸作り (体験)	館職員	1 (1)	6
	ぼっち笠作り (実演・体験)	湯浅芳子	5 (4)	6
	みの作り (実演)	湯浅芳子	2	—
	土間ぼうき作り (体験)	館職員	3 (3)	17
わらぞうり作り (実演・体験)	館職員	10 (10)	32	
むしろ織り (実演・体験)	館職員	1 (0)	0	

	演 目 名	指 導 者	実施日数	体験者数
下 総	もっこ編み (実演)	館職員	1	—
	下総のお飾り作り (体験)	館職員	2 (2)	39
	小 計		180 (137)	674
安 房 の 農 家	足半作り (実演・体験)	館職員	4 (3)	9
	ケダイ作り (実演・体験)	館職員	2 (2)	0
	日ごも編み (体験)	館職員	2 (2)	4
	こも織り (実演・体験)	館職員	5 (5)	0
	バッチ笠 (実演・体験)	館職員	4 (4)	延べ6
	ざる・かご作り (実演)	岩立佐太雄	6	—
	わらじ作り (実演・体験)	館職員	6 (5)	9
	輪飾り作り (体験)	館職員	2 (2)	7
	安房のお飾り作り (体験)	館職員	2 (2)	32
小 計		33 (18)	67	
計			248(190)	848

d 生活歳時記

下表における演目名の記載で(上)は上総の農家、(下)は下総の農家、(安)は安房の農家で実施したことを示す。なお、そうした記載のない演目は、3農家すべてで実施した。

演 目 名 (施設)	指 導 者	実 施 月 日	内容 (体験者数)
雛祭り	館職員	4月9・10日	実演・展示
犬供養(下)	館職員	4月29日	実演・展示
水口祭り(上)	館職員	5月17日～19日	実演・展示
人形送り(下)	館職員	5月29日	展示
さなぶり(上・下)	館職員	6月5日(下) 6月8・9日(上)	実演・展示
端午の節供	館職員	6月11・12日	実演・展示
お荒神様の宿替え(安)	館職員	6月14日・12月8日	実演・展示
虫送り(上)	館職員	7月16日	実演・体験(0)
新箸(上)	館職員	8月3日～5日	実演・展示
七夕	斎藤孝雄(上) 館職員	8月10・11日	体験(上7・下4・ 安4)・展示
盆	館職員	8月17日～19日	実演・展示 体験(上0)
十五夜(上・下)・月見(安)	館職員	9月17・18日	展示・体験(下 0)
刈り上げ(下)	館職員	10月2日	実演・展示

演 目 名 (施 設)	指 導 者	実 施 月 日	内 容 (体 験 者 数)
十三夜(上・下)	館職員	10月14・15日	実演・展示
冬至(上・下)	館職員	12月21・22日	実演・展示 体験(上0)
どんど焼き(上)	館職員	1月9日	体験(90)
正月の準備	蒔田義男(安) 館職員	1月24日～28日	実演・展示
正月	館職員	1月29日～2月11日	実演・展示
節分(上・下)	館職員	2月2・3日	実演・展示
七草(下)	館職員	2月4日	実演・展示
むらの災いよけ(上・下)	館職員	2月9・10日(上) 3月5日(下)	体験(上3・下 11)実演・展示
おびしゃ(上・下)	館職員	2月4・5日(上) 2月25・26日(下)	実演・展示
小正月飾り	館職員	2月11・12日	実演・展示
大火焚き(安)	館職員	2月12日	体験(52)
モチビヤリ(安)	館職員	2月24日～26日	実演・展示
計			体験(171)

e 子供の遊び

	演 目 名	指 導 者	実 施 日 数	体 験 者 数
上 総 の 農 家	節供凧作り(実演・体験)	川崎 泰	1(1)	3
	親子竹のおもちゃ作り(体験)	館職員	4(4)	64
	麦わらの虫かご作り(体験)	館職員	2(2)	18
	小 計		7(7)	85
下 総 の 農 家	夏休み親子竹のけん玉作り(体験)	館職員	2(2)	28
	夏休み親子水車作り(実演・体験)	館職員	2(2)	18
	竹馬作り(実演・体験)	館職員	2(2)	7
	夏休み親子竹のこま作り(実演・体験)	館職員	4(4)	40
	木の実のアクセサリ(体験)	館職員	1(1)	38
	小 計		17(17)	131
安 房 の 農 家	紙鉄砲と竹の提灯作り(体験)	館職員	4(4)	68
	お手玉作り(実演・体験)	館職員	2(2)	13
	木の実のおもちゃ作り(体験)	館職員	2(2)	12
	紙鉄砲作り(体験)	館職員	3(3)	53

	演 目 名	指 導 者	実 施 日 数	体 験 者 数
安房	竹の花器作り (体験)	館職員	9 (9)	105
	小 計		20 (20)	251
農家共通	風車作り (体験)	館職員	20 (20)	1387
	縄ない (体験)	館職員	9 (9)	66
	小 計		29 (29)	1454
計				1921

上記のほかに、3農家共通で7月から9月に「夏のあそび」(水鉄砲・竹トンボ・竹馬・竹のけん玉・風車・水車など)、1月から2月に「冬のあそび」(竹馬・羽子板・独楽・けん玉・ペーゴマ・メンコ・ビー玉・お手玉・おはじき・福笑いなど)を随時体験として実施した。

f 宿泊体験

演 目 名	指 導 者	実 施 日 数	体 験 者 数
夏休み親子宿泊 (上総の農家)	館職員	2 (2)	11
夏休み親子宿泊 (下総の農家)	館職員	2 (2)	8
夏休み親子宿泊 (安房の農家)	館職員	2 (2)	13
計		6 (6)	32

イ 新規演目

(ア) 3農家共通「縄ない」

昨年度まで学校団体体験で実施してきたものを、個人でも体験できるようにした。

(イ) 3農家共通「夏休み親子宿泊」

製作体験・自炊体験・ナイトウォーク・農家宿泊などからなる体験を、1泊2日の日程で、3農家で1回ずつ実施した。



夏休み親子宿泊

(ウ) 下総の農家 機織り「テーブルセンター大」

これまで好評だった「テーブルセンター」について、2倍の大きさのものを作れるようにした。

(E) 下総の農家「むしろ織り」 伝統技術の継承を図るという観点から実施した。

(オ) 下総の農家「もっこ編み」 伝統技術の継承を図るという観点から実施した。

(4) 農村歌舞伎舞台

・太鼓をたたこう

舞台の上に大太鼓1台と付締太鼓2台を設置し、自由に叩くことができるようにしている。気軽に和太鼓にふれることができるため、子どものみならず、外国人や大人の方にも大変好評である。

(5) 風土記の丘資料館

ア 常設展示

第1展示室 「房総の古墳と古代の寺」

第2展示室 「原始・古代の生活」

回廊展示 「房総半島の生い立ち」「原始・古代の信仰」「中世の焼き物」「古代の鉄生産」

(各コーナーにおいて、展示資料の入れ替えを随時行った。)

イ 企画展示 (『遊びー見る・作る・学ぶー』はIV 1 (3)参照)

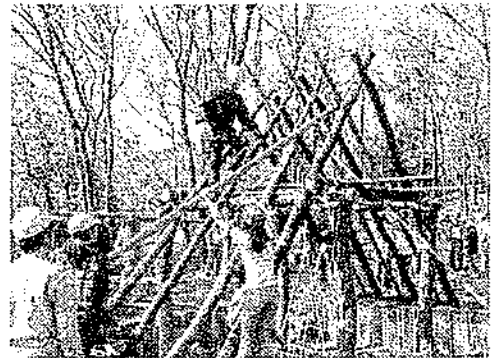
(7) トピックス展「竪穴住居」

開催期間：平成17年4月12日(火)～8月28日(日)

当初は6月26日(日)までの会期だったが、好評により会期を延長。

(開催日数121日、見学者数84,514人)

概要：平成16年度芸術文化拠点事業として、
近隣の小学校やボランティアの協力を得
て建設した古墳時代の復元竪穴住居の公
開にあたり、竪穴住居の特徴や建設過程
を紹介し、原始・古代の人々の生活の一
端を理解していただいた。



担当：上席研究員 田形孝一

関連行事：第1回むらの寺子屋(5/22)

『原始古代のTATEANA ライフ』(講師：田形)と題した記念講演会を開催した。

(イ) 平成17年度出土遺物巡回展『房総発掘ものがたり』

開催期間：平成17年9月4日(日)～9月25日(日) (当館開催期間)

(開催日数18日、見学者数11,942人)

概要：近年、県内で発掘調査された遺跡のな
かから注目される遺跡を選び、考古資料
を公開するもので、埋蔵文化財に対する
県民の理解を深める機会とする。県内全
域でより多くの方々に御覧頂くため、当
館を含めて千葉県内の博物館7館(県立)
6館、市立1館)を巡回して開催された。



主催は出展各県内埋蔵文化財調査法人と開催館である。

展示構成：石器と石材(柏市中山新田遺跡ほか)、鎌ヶ谷市五本松No.3遺跡(旧石器時代)、
千葉市内野第1遺跡(縄文時代)、印西市西根遺跡(縄文時代)、君津市鹿島台
遺跡A区(弥生時代)、市原市辺田1号墳(古墳時代)、成田市台方下平I・II遺
跡(古墳～奈良時代)、佐原市一夜山遺跡群C地区(平安時代)、木更津市笹子城
跡(中世)

担 当：上席研究員 田形孝一

関連行事：展示解説会（9/4、9/11、9/18、9/23、9/25）

参加者計83名

講演会「成田市台方下平Ⅰ・Ⅱ遺跡の調査成果について」

（講師：（財）印旛郡市文化財センター 松田富美子氏）

9月18日（日）午後 資料館集会室（参加者15名）

(ウ) 千葉県立美術館・博物館合同企画事業

『房総の船～ぐるっと巡る 半島 ふねの旅～』

開催期間：平成17年11月15日（火）～12月18日（日）

（当館開催期間）

（開催日数30日間、見学者数15,780人）

概 要：「房総の船」というテーマで、千葉県立美術館・博物館各館の独自性や専門性を生かして企画した船に関する展覧会で、当館では「絵葉書に見る船—山中コレクション—」と題した館蔵資料展を開催した。明治・大正～昭和初期にかけての絵葉書資料（館蔵資料：「山中コレクション」）の中から、川（湖沼を含む）・海で使われた船を題材とした絵葉書を紹介した。



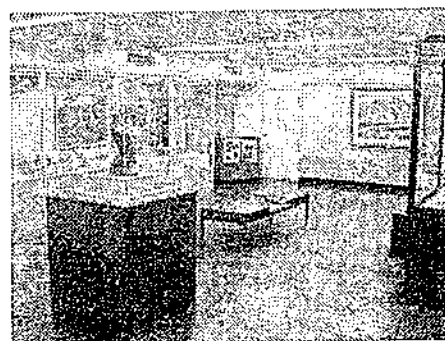
担 当：上席研究員 田形孝一

(イ) 県立美術館コレクション展—美と技の調和—

開催期間：平成18年1月11日（水）～2月12日（日）（当館開催期間）

（開催日数28日間、見学者数11,355人）

概 要：千葉県立美術館が収蔵する優れた作品を県内各地域の方々に身近なものとして鑑賞していただくため、県立博物館6館の設けたテーマに沿った作品を各館で展示した。当館では「里山の風情」と題して里山の風景やそこに住む鳥や小動物などをモチーフとした絵画・工芸品を紹介した。



担 当：上席研究員 井上哲朗

(オ) 房総のむら写真展

開催期間 平成18年2月21日（火）～3月19日（日）

（開催日数24日間、見学者数10,490人）

概 要 房総のむらの景観や自然を題材とした写真展を資料館資料サービス室で開催した。10月22日に実施した「写真撮影講習会」の作品及び館職員の撮影した写真、

計53点の出品があった。

ウ 資料館外展示

(7) 館蔵資料展「印旛沼をめぐる原始・古代の遺跡」

開催期間：平成18年2月14日（火）～3月12日（日）（24日間）

概要：印旛村歴史民俗資料館と共催で、風土記の丘資料館の館蔵資料（考古資料）のうち印旛村とその周辺から出土した資料を選定し、一般公開した。

（入館者数266名）

展示構成：縄文時代、弥生時代、古墳時代、奈良・平安時代、中近世

関連行事：展示解説会 2月26日（日）

担当：上席研究員 三浦和信



エ 演目の展開

本年度風土記の丘資料館で実施した個人対象演目は下表のとおりである。なお、実施日数欄の括弧内は体験者を募集して実施した日数である。また、体験者数欄における「延べ人数」は、複数回で一つの演目を体験した場合の延べの数である。

	演 目 名	指 導 者	実施日数	体験者数
原始・古代の道具	石器づくり教室	館職員	1 (1)	9
	石器づくりの技 (実演)	館職員	1	—
	土器づくり教室	館職員	3 (3)	延べ59
	土器づくりの技 (実演)	館職員	3	—
	縄文カゴづくり (大)	藤ヶ崎たつ子・北崎みち子・館職員	1 (1)	15
	縄文カゴづくり (小)	藤ヶ崎たつ子・北崎みち子・館職員	1 (1)	15
	火起こし体験	館職員	3	64
	火起こしの技 (実演)	館職員	3	—
	縄文ハンター	館職員	3	560
原始・古代の飾り	勾玉づくり教室	館職員	21 (21)	422
	勾玉づくりの技 (実演)	館職員	21 (21)	—
	丸玉づくり教室	館職員	1 (1)	16
	鹿角製ペンダント作り教室	館職員	1 (1)	29
	縄文クシづくり教室	館職員	1 (1)	4
原始・古代の土器	手形・足形づくり教室	館職員	2 (2)	37
	土版・土偶づくり教室	館職員	2 (2)	20

演 目 名		指 導 者	実施日数	体験者数
祈り	壇輪づくり教室	館職員	2 (2)	延べ24
原始 の 食 事 ・ 古 代	原始・古代塩づくりの技 (実演)	館職員	2	—
	縄文料理教室 (体験)	館職員	1 (1)	—
	古代米料理教室 (体験)	館職員	1 (1)	—
自然	縄文寄せ植えづくり教室	館職員	2 (2)	延べ26
計			76 (61)	1,300

オ 新規演目

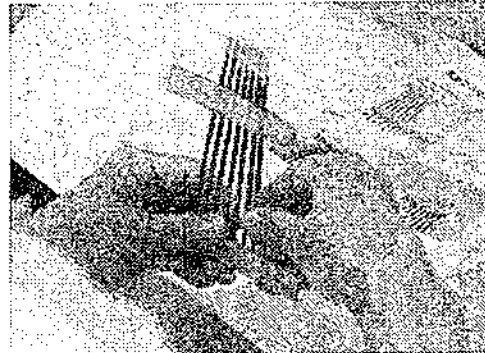
(7) 丸玉づくり教室

中学生以上を対象に、原始・古代の最も基本的なアクセサリーである丸玉を色鮮やかな石材を磨いてつくることとおして、当時の装飾品の歴史を学習しながら、原始・古代の技術に触れることを目的として実施した。各時代の装飾品の概要と種類、アクセサリーで身体を装う意味等について講義し、その後、事前に適度な大きさにカットした篆刻材を砥石で削り、紙ヤスリで磨いて仕上げ、革ひもを通した。



(1) 縄文クシづくり教室

小学5年生以上を対象に、縄文時代から現代まで愛用されている女性の髪を飾るクシ（髪止め）を作成することで、漆塗りを含めた当時の造形技術と美意識の高さを理解させることを目的に実施した。段ボールを飾部にあて、竹串を凧糸で結び固定し、飾部を石粉粘土で板状にくるみ、棒や篋を用いて文様をつける。粘土が固まった後に、工芸用の漆を塗ることで色彩と強度を増し、乾燥させ完成となる。



3. 教育普及事業

(1) 学校支援事業

博学連携事業として、「学校団体体験」や「学芸員による学習支援」、「学校向け資料貸出」などを実施した。

ア 学校団体体験

(7) 利用状況 単位：校数 ()：内数

小 学 校									
178 (県外19)									
1年	2年	3年	4年	5年	6年	小1・2	小3・4	小4・5	小1～6
1	1	12	100	5	47	1	8	1	2

中 学 校				その他の学校				合 計
5 (県外5)				6 (県外1)				
1年	2年	3年	1～3年	高校	養護学校	大学	各種校	189
2	1	0	2	1	1	3	1	

(イ) 演目別体験者数

演 目 名	実 施 場 所	実施回数	体 験 者 数
縄 ない	農 家	16	286
竹の紙鉄砲作り		54	1,075
竹の花器作り		9	166
昔のあそびの体験		2	56
飾り結び	商 家	81	1,349
折り紙		65	1,240
千代紙ろうそく		114	2,800
どろめんこ		92	1,703
勾玉づくり	風土記の丘	40	1,364
火起こし		17	494
資料館探検		1	49
むら探検	総 屋	30	1,724
その他		25	675
合 計		546	12,981

イ 学芸員による学習支援

本年度は、小学校26回1,576名、聾学校1回12名、大学2回14名、合計29回1,602名の児童生徒学生を対象に、総合的な学習の調べ学習等に対応した解説や質疑応答なども実施した。内容としては、農家の仕事や家屋の特徴、農具の名前や使い方などについて実物資料を使っ

て解説した。また、古代米の栽培や土器作り、竪穴住居の復元などの体験活動を支援した。

ウ 学校向け貸出し

資 料 名 (貸与期間)	点 数	貸 与 先
みの・わらじ・俵 ・かます・笠 (H17. 11/13～11/20)	5	佐倉市内郷小学校
石臼 (H18. 2/7～2/14)	1	印西市立小林小学校

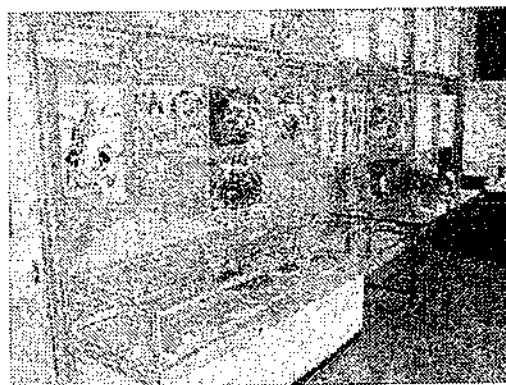
エ 移動博物館

・開催期間：平成17年5月10日（火）～平成18年3月22日（水）

・会 場：酒々井町立酒々井小学校

・概 要：博学連携の一環として、酒々井町立酒々井小学校との共催で、風土記の丘資料館の館蔵資料（考古資料）の一部を展示し、社会科の授業で地域の歴史を調べる教材とした（見学者数450名）。

テーマは『大昔の「お鍋」』と題して原始・古代の煮炊きの道具と生活道具を中心に展示を行った。



・関連行事：出土品の解説や各時代の特徴及び歴史的背景について出前授業を実施した。

オ インターンシップ

今年度より(社)千葉県経営者協会主催の「インターンシップ事業」の受け入れ団体として当館が登録した。本年は川村学園女子大学の学生1名受け入れ、1週間にわたって博物館事業に携わる就業体験を行った。

(2) 講習会等

ア 歴史の里の音楽会

・実施日時：平成17年10月23日（日）午後2時～

・実施場所：旧学習院初等科正堂

・参加者：350名

・奏者：ニューフィルハーモニー千葉

・内容：秋に奏でる月と星の名曲集

・曲目：魅惑の宵、エストレータ、さやかに星はきらめき、ジュピター、フライミー・トゥー・ザ・ムーン、ムーン・リヴァー、アクエリウス、星に願いを、夕星の歌、地上の星、この星に生まれ



歴史の里の音楽会

て、月の砂漠、宵待草、朧月夜、昴、荒城の月、見上げてごらん夜の星を

イ むかしの町並み探検隊

当館で再現している伝統的な町並みや建造物等が残る地区の見学会を実施した。水戸街道の宿場町として栄えた我孫子市、当館商家町並みのモデルのひとつとなった佐原の町並み、房総有数の城下町であった佐倉の町並みなどを対象に実施した。

場 所	講 師	実 施 月 日	参加者数	主 な 見 学 場 所
印西市	蓼沼輝子他	5月15日(日)	29	町並み、滝田商店蔵、吉岡問屋蔵、木下貝層露頭ほか
佐原市	吉田 昌司	7月3日(日)	21	町並み、伊能忠敬記念館、山車会館ほか
佐倉市	鈴木 三郎	11月13日(日)	14	武家屋敷、町並み、旧堀田邸、佐倉順天堂記念館
		計	64	

ウ 房総のむらガイドツアー

房総のむらの利用者を対象に、職員が施設や展示内容等について解説を行いながら館内のガイドを実施した。

実 施 月 日	参加者	実 施 月 日	参加者
4月9日、17日	8	5月29日、30日	0
6月12日	2	7月9日、10日、17日、18日	2
8月6日、7日、20日、21日	5	9月10日、11日、18日、19日	4 7
11月19日、20日	5 2	12月10日、11日、17日、18日	5 7
1月14日、15日	0	2月11日、12日、18日、19日	2 0
3月11日、12日、18日、19日	0	合 計	1 9 3

エ 里山観察会

古来より衣食住の営みに関わってきた植物及び身近かに自生するキノコについて、房総のむらの敷地内を散策しながら観察を行った。

回数	テーマ及び講師	実 施 月 日	参加者数	主 な 見 学 場 所
1	生活に関わってきた植物の観察会 天野 誠	5月8日(日)	午前23 午後23	園路周辺、上総・下総・安房の農家周辺の畑及び水田、風土記の丘エリア
2	アカマツ林のキノコ 吹春 俊光	9月17日(日)	45 ※終日	風土記の丘エリア及び資料館集会室
3	生活に関わってきた植物の観察会 天野 誠	11月6日(日)	午前10 午後 9	園路周辺、上総・下総・安房の農家周辺の畑及び水田、風土記の丘エリア
		計	110	

オ 教職員を対象とした博物館研修会

学校教育における博物館利用の理解と活用の促進を図るため、小・中学校の教職員を対象に研修会を実施した。房総のむらの概要や学校支援事業としての団体体験、学芸員による学習支援などの説明を行った。その後、館内ツアーを実施し、学校利用にあたっての質疑応答を行った。

- ・実施日時：平成17年7月29日(金) 午前10時～12時
- ・会場：総屋2階ほか、町並み、農家、水田など
- ・参加者数：48名

(印旛地区教育研究会二部会社会科研修会 博物館教室)

学校教育における博物館利用の理解と促進を図るため、印旛地区小中学校の教職員を対象に講義「原始・古代の竪穴住居」・トビックス展見学及び石斧伐木体験・古代米料理体験を行った。

- ・実施日時：平成17年6月3日(金) 午後1時30分～4時30分
- ・会場：風土記の丘資料館集会室
- ・参加者数：17名

カ ジュニアリーダー養成講座

平成17年7月9日から10日にかけて、栄町子ども会連絡協議会のジュニアリーダー養成講座が当館で行われた。当日はジュニアリーダー34名と協議会役員15名が参加した。1日目は風土記の丘資料館で勾玉作りの体験などを行い、上総の農家に宿泊した。2日目は総屋で「壁新聞」作りなどを行った。

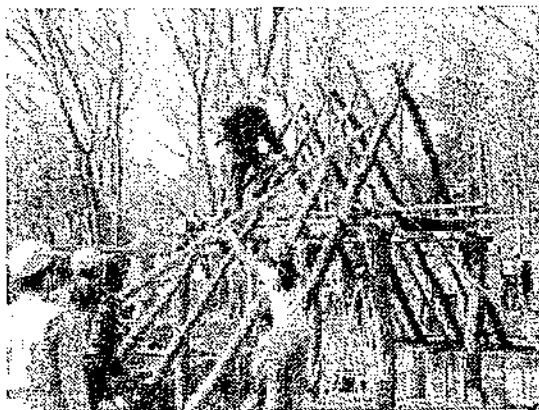
キ 博物館実習

学芸員の単位取得をめざす学生に対し博物館実習を実施した。

- ・実施日 平成17年8月2日(火)～8月9日(火)
- ・受入れ大学 聖徳大学(1名)、千葉大学(1名)、帝京大学(1名)、川村学園女子大学(1名)、東洋大学(1名)
- ・実習内容 8月2日 県立博物館について、博物館の保守・管理、事業課概要、普及課概要・普及活動
- 8月3日 資料の取り扱い(資料の受入と管理・記録と計測)
- 8月4日 資料の取り扱い(文書の取扱い)
演目の企画、写真・カメラの基礎理論
- 8月5日 演目の実際(商家)、図書整理
- 8月6日 演目の実際(農家)、演目の企画
- 8月7日 演目の実際(資料館)・資料の取り扱い(考古資料、資料の扱いと梱包の基礎知識)
- 8月8日 自宅研修日
- 8月9日 展示作業実習(風土記)、展示の企画、意見交換

(3) 平成17年度文化庁芸術拠点形成事業

昨年度に引き続き、文化庁による支援事業「芸術拠点形成事業」として、古墳時代の竪穴住居復元を核とする体験演目「僕たち古代人 古代のムラをつくろう Part.2」を実施した。実施にあたっては、柴町立酒直小学校（団体参加）や個人参加の小中学生をはじめ、一般ボランティアの協力を得た。実施期間は平成17年11月から平成18年3月までであり、参加延べ人数は448名を数えた。この間弥生時代中期の竪穴住居の復元とともに、復元された住居において古代の生活技術にふれる体験などを併せて行った。



竪穴住居の復元の様子

(4) ボランティアの育成

平成17年度は、外国人入館者の見学や体験をサポートする通訳ボランティアや、文化芸術拠点形成事業に関連した竪穴住居の復元等を行う竪穴住居復元ボランティア、変化朝顔の栽培ボランティア「朝顔サポーター」などの募集・活動を行った。

(5) 刊行物

名称	内容	規格	頁数	発行部数
千葉県立房総のむら入館者用パンフレット(日本語版)	房総のむらの概要と利用案内(日本語版)	21.5cm×38.5cm 観音折り	2	100,000
千葉県立房総のむら入館者用パンフレット(英語版)	房総のむらの概要と利用案内(英語版)	21.5cm×38.6cm 観音折り	2	20,000
千葉県立房総のむら入館者用パンフレット(ハンガール語版)	房総のむらの概要と利用案内(ハンガール語版)	21.5cm×38.7cm 観音折り	2	10,000
春のまつりポスター	「春のまつり」案内ポスター	B2	1	500
秋のまつりチラシ	「秋のまつり」の概要の紹介	A3(二折り)	4	20,000
千葉県立房総のむら体験のしおり	房総のむらの体験に参加するための案内	A4	59	3,000
企画展チラシ	「企画展」の概要の紹介	A4	2	10,000
企画展ポスター	「企画展」案内ポスター	B2	1	500
企画展リーフレット	「企画展」の展示内容及び展示資料の概要説明	A3 (二つ折り)	4	15,000
企画展示図録	「企画展」の展示内容及び展示資料の解説	A4	36	500
ふるさと祭りチラシ	「ふるさと祭り」の概要の紹介	A4	2	13,000

名称	内容	規格	頁数	発行部数
町と村調査研究報告書 第8号	「物から見た町とむらの交流3」 をテーマとした調査研究	A4	70	500
千葉県立房総のむら館報 「大木戸」36号・37号	房総のむらの企画展・各施設の 演目等の事業紹介	A3 (二つ折り)	4	3,000
千葉県立房総のむら年報1 9	平成16年度房総のむらの企画展 ・各施設の演目等の事業紹介	A4	51	500

(6) ホームページ

館職員によりホームページを作成し、館の概要、利用案内、体験の内容と日程などを紹介している。ホームページの内容は以下のとおり。

- [利用案内] 開館時間、交通案内、入館料、など。
- [常設展示] 館内の展示案内。
- [学校団体体験] 学校団体で来館する際の利用案内。
- [体験・実演案内] 体験・実演の内容、日程など。
- [催し物案内] 春・秋のまつりなどイベントの紹介。
- [展覧会] 企画展などの案内。
- [NEWS] 各種お知らせ、募集案内など。
- [むらの四季] 館内の花情報など。
- * [むらの壁紙] [むらの四季]などからピックアップした画像集。
- * [変化朝顔日記] ボランティアの募集および館内で栽培の変化朝顔日記。
- [竪穴住居の復元] ボランティアによる竪穴住居の復元過程を紹介。
- [むらの事典] 染色、米作り、紙漉きなど、演目に関連した事柄を解説。
- [友の会] 友の会の案内。
- [協議会] 協議会開催のお知らせと、議事録。
- * [職員紹介] 職員の組織図および紹介。
- [デジタルミュージアム]
 - 「千葉県の七夕馬」 「災いくるな」 「房総のむらの年中行事」
 - 「衣・食・住・技—房総のまちとむら」
 - 「Wind & Earh」 「Chiba Origin」 * 「Dizsters Revial」

※ *は17年度に新しく追加したメニュー。

※ 他に県立博物館HPに収蔵資料の検索ページがある。

(7) 伊能歌舞伎

- ・実施日時：平成17年10月16日（日）
午前11時～12時15分、午後1時～2時
- ・演者：伊能歌舞伎保存会（成田市〈旧大栄町〉）
- ・伊能歌舞伎は元禄10年に始められたと伝えられている農村歌舞伎で、一時期途絶えていたが、平成11年に保存会が結成され復活した。当館での上演は、平成13年度から5度目である。
- ・演目：本朝二十四孝「十種香の場」
弁天娘女男白波「稻瀬川の場」
仮名手本忠臣蔵「九段目 山科閑居の場」



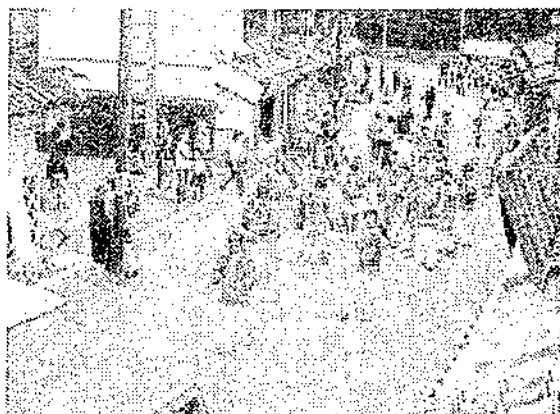
伊能歌舞伎

(8) 写真撮影講習会

- ・撮影会日時：平成17年10月22日（土）午後1時～午後4時
- ・講師：写真家 日本写真協会 茶谷茂氏
- ・参加者数：19名
- ・後援：富士フィルムイメージング株式会社
- ・作品展：写真技術講習会作品展（総屋）平成17年12月1日～12月25日
房総のむら写真展（資料館）平成18年2月21日～3月19日
- ・写真家の撮影アドバイスを受けて、房総のむらの風景写真の撮影会と、作品展を行った。

(9) 八日市場祇園囃子上演

- ・実施日時：平成17年10月30日（日）
午前10時30分～12時、
午後1時30分～3時
- ・演者：西本町囃子連（匝瑳市〈旧八日市場市〉）
- ・千葉県内において継承される民俗芸能を上演することで、伝統芸能への理解を深めるとともに、技術の習得を図ることを目的として、匝瑳市八重垣神社の祇園祭のお囃子を上演した。



八日市場祇園囃子

4. 調査研究活動

(1) 企画展に係る資料調査等

・「遊び－見る・作る・学ぶ－」

今年度は、展示候補資料所蔵先である千葉惣次氏、菱田敏子氏宅での実見・調査が中心となったが、大川功修・高安正男・並木裕各氏宅では展示・図録掲載のための写真資料等の調査を実施した。(株)郷土出版からは写真転載等の協力も得た。また、写真やおもちゃ等について館内職員からも協力や多くの情報提供も受けた。このほか船橋市郷土資料館、流山市立博物館、県立上総博物館・総南博物館・大利根博物館では展示資料に係る調査を行った。さらに、町並みの景観復元に当たっては、関電工千葉支店、日本放送協会(NHK)等の協力を得られた。

(2) 物から見た町と村の交流－4－

当館では、平成元年度から町が持つ様々な機能や町と村の結びつき等について特徴的な地域を選定し調査を実施してきた。また、平成12年度からは町と村の関係に深く関わる「人と物の交流」(とくに生業等)に焦点を当てて調査を進めてきた。そして、昨年度は房総風土記の丘が合併したことにより、発掘遺物からみたこうした視点の論考が見られるようになってきた。これに伴って今年度からは、生業にこだわることなく「物から見た町と村の交流」という大きなテーマのもと、その成果をとりまとめることとし、『町と村調査研究第8号物から見た町と村の交流－4－』を刊行した。内容は以下のとおりである。

－論文－

- | | |
|-----------------------------------|------|
| 1. 廃絶したつく舞をめぐって－利根川下流域の水運の盛衰とともに－ | 秋山笑子 |
| 2. 煎茶の合－地域に根ざした茶商の技－ | 植野百代 |
| 3. 房総における弥生時代前期の地域的特質(1) | 渡邊修一 |

－研究ノート－

- | | |
|--------------------------------------|------|
| 4. 西屋敷遺跡・松子城跡出土中世陶磁器類の組成－館蔵資料の再整理から－ | 井上哲朗 |
| －資料紹介－ | |
| 5. 房総のむら(旧房総風土記の丘)所蔵の勝坂式土器 | 大内千年 |

(3) 千葉学講座

県立博物館・美術館職員による千葉県に関する調査研究成果を還元するため、千葉県立中央博物館において講座(年間)を実施した。当館からは、9月17日(土)に上席研究員尾崎晃が「スミにおけない話－近世房総製炭事情－」と題した講演を行った。

(4) 平成17年度戦略プロジェクト『日本一の安心農林水産物「千葉ブランド」の確立』『千葉の食文化まるごと体験』郷土料理の映像記録製作

平成17年度戦略プロジェクトの一環として、千葉の郷土料理等の映像記録の作成をおこなった。今回は千葉の銘菓である「なすの初夢漬」と「落花煎餅」作りの様子を匝瑳市八日市場の和菓子店「鶴泉堂」の協力を仰ぎ、映像に収めた。特に落花煎餅は機械化によって現在行われなくなった「手焼き」による落花煎餅作りの再現であり、貴重な映像となった。

(4) 資料の管理

ア 所蔵資料

分類	館蔵品			受託	製作	借用	合計
	購入	寄贈	移管				
考古資料	350点	26点	10,605箱	22点		25点	423点 10,605箱
自然資料			208点				208点
民俗資料		2,901点	47点		1,506点	9点	4,463点
合計	350点	2,927点	255点 10,605箱	22点	1,506点	34点	5,094点 10,605箱

※「移管」とは、千葉県教育庁、(財)千葉県文化財センターから移管されて保管する資料である。

イ 受贈資料

印西市木下廃寺出土軒丸瓦1点の寄贈を受け、収蔵した。

ウ 資料借用

(7) 長期借用(常設展示)

資料名	種類	点数	所蔵	借用期間
龍尾寺出土 軒丸瓦	実物	3	龍尾寺	H17.4/1~H18.3/31
鷗崎天神台古墳第1粘土槨出土石製模造品	実物	4	佐原市教育委員会	H17.4/1~H18.3/31
鷗崎天神台古墳第2粘土槨出土石製模造品	実物	6	佐原市教育委員会	H17.4/1~H18.3/31
堀之内3号墳出土立花	実物	2	佐原市教育委員会	H17.4/1~H18.3/31
石枕	実物	1	成田市立公津小学校	H17.4/1~H18.3/31
油井古塚第31号墳出土銅椀	実物	1	東金市教育委員会	H17.4/1~H18.3/31
コジヤ遺跡出土瓦当	実物	1	栗源町教育委員会	H17.4/1~H18.3/31
大谷台遺跡出土微隆起線文土器	実物	7	(財)千葉県文化財センター	H17.4/1~H18.3/31
		合計	25	

(4) 短期借用

資料名	種類	点数	所蔵	借用期間
成田市南羽鳥中岫第1遺跡出土人頭形土製品	複製	1	成田市教育委員会	H17.7/1~9/15

(トピックス展「竪穴住居」展示)

資料名	種類	点数	所蔵	借用期間
加曾利貝塚 復元竪穴住居	写真	5	加曾利貝塚博物館	H17.4/2~4/30
貝の花貝塚 復元竪穴住居	写真	2	松戸市立博物館	H17.4/2~4/30
子和清水貝塚 復元竪穴住居	写真	2	"	H17.4/2~4/30
上本郷貝塚 復元竪穴住居	写真	2	"	H17.4/2~4/30
西ノ窪遺跡 復元竪穴住居	写真	4	袖ヶ浦市郷土博物館	H17.4/2~4/30
上高津貝塚 復元竪穴住居	写真	1	上高津貝塚ふるさと歴史の広場	H17.4/2~4/30
大塚遺跡 復元竪穴住居	写真	1	横浜市歴史博物館	H17.4/2~4/30
登呂遺跡 復元竪穴住居	写真	2	静岡市教育委員会	H17.4/2~4/30
中筋遺跡 復元竪穴住居	写真	3	渋川市文化財事務所	H17.4/2~4/30
大畑I遺跡遺跡全景写真ほか、土器器杯ほか	写真・実物	15	(財)千葉県文化財センター	H17.4/5~7/10

(平成17年度企画展『遊び-見る・作る・学ぶ-』)

(借用期間: H17. 9 ~ H17. 11)

通No.	資 料 名	種 類	点数	所 蔵
I 大木戸・総屋				
	スバル360	実物資料	1	千葉県立現代産業科学館
	ダッコちゃん人形	複製資料	1	故菱田忠義
II 町並み				
	電線	複製資料	1式	日本放送協会
	扇風機	実物資料	1	故菱田忠義
	水冷蔵庫	"	1	"
	看板「世界の有名品 ブラザーミシン」	"	1	"
	原動機付自転車「スーパーカブ102型」	"	1	"
	看板「コクヨ便箋」	"	1	"
	看板「資生堂石鹸」	"	1	"
	看板	"	1	個人
	建具	"	1式	日本放送協会
	井戸杵	"	1	福田順一
	駄菓子屋 (ねこびん)	"	2	大川功修
	駄菓子屋 (鉄砲瓶)	"	12	"
	かき氷機	"	1	故菱田忠義
III 農家				
	電気トースター	実物資料	1	故菱田忠義
	電気炊飯器	"	1	"
	足踏み式ミシン	"	1	"
	ラジオ	"	1	"
	テレビ	"	1	"
	ちゃぶ台 (角丸)	"	1	個人
	電灯	実物資料	1	故菱田忠義
	柱時計	"	1	"
	汁碗	"	2	個人
	湯飲み茶碗	"	2	"
	おかず入れ	"	2	"
	牛乳箱	実物資料	1	故菱田忠義
	動力式脱穀機	"	1	個人
	発動機	"	1	"
	自転車	"	1	故菱田忠義
	リヤカー	"	1	"
IV 風土記の丘資料館『遊びを見る』				
1 あそびを見る				
	1954年カレンダー	実物資料	1	故菱田忠義
	壁掛け時計	"	1	個人
	レコードプレーヤー	"	1	"
	ラジオカセットレコーダー	"	1	"
	東京オリンピック関係パンフレット	"	3	故菱田忠義
	月刊・週刊誌・グラビア誌 (昭和30年代)	"	8	"
	東京オリンピック入場券	"	1	個人
	東海道新幹線開業記念切符	"	3	故菱田忠義
	時刻表 (昭和39年10月号)	"	1	"
	東京オリンピック公式ポスター	"	1	"
	ちゃんばらごっこ	写真パネル	1	写真提供: 個人
2 昭和30年代のおもちゃ箱				
	文机	実物資料	1	個人
	ランドセル	"	1	故菱田忠義
	学生帽	"	1	"
	セルロイド製の筆箱	"	1	"
	木製の筆箱	"	1	"
	木製の三角定規	"	2	"
	少年少女文学全集など	"	4	個人
	ゴム製爬虫類	"	1式	"

通No.	資料名	種類	点数	所蔵
	ブリキ製の機関銃	"	1	"
	ブリキ製の宇宙船	"	1	"
	レーシングカーとコース	"	1式	個人
	プラモデルと戦闘シーンジオラマ	"	1式	"
	おもちゃの鉄砲	"	7	故菱田忠義
	ブリキ製の紙玉鉄砲	"	2	"
	紙玉鉄砲の平弾	"	1式	千葉惣次
	ブリキ製の自動車	"	5	故菱田忠義
	ボードゲーム	"	2式	"
	ジェットヘリコプター	"	1	個人
	洋風ダイニングキッチン	"	1式	"
	キュービー人形	"	2	故菱田忠義
	お年玉袋	"	1	千葉惣次
	旧百円紙幣	"	3	個人
	ヤンボーマーボーの貯金箱	"	2	故菱田忠義
	トッポジョジョの財布	"	1	"
	旧型硬貨	"	1式	個人
	おもちゃの鏡	"	1	"
	おはじき	"	1式	"
	おもちゃの電話	"	1	"
	おもちゃ箱	"	3	故菱田忠義
	雑誌付録「歌の花籠」本	"	1	"
	ダッコちゃん人形	"	1	"
	ぼくちの自動車と一緒に	写真パネル	1	写真提供：個人
	家族みんなでテレビを見る	"	1	"
	道路であそぶ子どもたち	"	1	写真提供：榊郷土出版社
	竹馬に乗ってあそぶ	"	1	写真提供：個人
	おもちゃの自動車に乗ってあそぶ	"	1	"
	おもちゃの電車であそぶ	"	1	"
	三輪車に乗ってあそぶ	"	1	"
	お人形さんといっしょ (私の宝物)	"	1	"
3	面子のあそび			
	絵銭	実物資料	2	千葉惣次
	泥面子 (面模)	"	42	"
	泥面子 (芥子面)	"	16	"
	鉛製の面子	"	18	"
	"	"	16	流山市立博物館
	木製の板面子	"	11	千葉惣次
	紙製の面子 (武者絵)	"	14	"
	" (映画俳優と相撲)	"	26	故菱田忠義
	" (映画・テレビのキャラクターとスポーツ選手)	"	19	流山市立博物館
	紙製の面子 (テレビアニメのキャラクター)	"	60	"
	飛ばし面子	"	1式	千葉惣次
	飛行機飛ばし	"	1式	"
	キサゴ貝製のおはじき	"	1式	"
	ロー石製のおはじき	"	1式	"
	ガラス製のおはじき (大)	"	3	故菱田忠義
	"	"	2	千葉惣次
	初期のガラス製のおはじき	"	1式	"
	ブリキ製のおはじき	"	1式	"
	木製のおはじき	"	1式	"
	初期のガラス製のビー玉	"	10	"
	ガラス製のビー玉	"	1式	故菱田忠義
	堤防で面子をしてあそぶ子どもたち	写真パネル	1	写真提供：並木 裕
4	いつものあそび -昔 ガキ大将だった頃！-			
	佐原張子人形「手まり・あやとり・おてだま」	実物資料	1	製作・所蔵 鎌田芳朗
	佐原張子人形「通りゃんせ」	"	1	"
	"「かごめかごめ」	"	1	"
	"「あの子はだあれ」	"	1	"

通No	資料名	種類	点数	所蔵
	ペーゴマ	"	6	千葉惣次
	けん玉	"	1	故菱田忠義
	だるま落とし	"	1	"
	寄せ木積み木	"	1式	千葉惣次
	積み木	"	1式	故菱田忠義
	あそび仲間たち	写真パネル	1	写真提供：(株)郷土出版社
	泥団子づくりに夢中	"	1	写真提供：個人
	緑側で積み木をしてあそぶ	"	1	絵葉書・所蔵：千葉惣次
5	歳時記のあそび			
	木札の百人一首(箱入り)	実物資料	1式	個人
	紙製の百人一首(箱入り)	"	1式	"
	紙製の百人一首	"	1式	千葉惣次
	イロハカルタ	"	1式	"
	貝合わせ	"	2	千葉県立総南博物館
	ドンザ風	"	1	船橋市郷土博物館
	上総鳶風	"	2	千葉県立上総博物館
	上総唐人風	"	1	"
	上総鳶風	"	1	"
	風の版本	"	3	"
	佐原張子人形「こいのぼり」	"	1	製作・所蔵 鎌田芳朗
	佐原張子人形「さかなどり」	"	1	"
	佐原張子人形「虫とり」	"	1	"
	佐原張子人形「夕焼け小焼け」	"	1	"
	佐原張子人形「シャボン玉」	"	1	"
	佐原張子人形「まりつき」	"	1	"
	ブリキ製のおもちゃ(ポンポン船)	"	1	個人
	ブリキ製のおもちゃ(金魚)	"	1	故菱田忠義
	ブリキ製のおもちゃ(砂場遊び)	"	5	個人
	花火	"	5	千葉惣次
	虫かご	"	2	個人
	クモ箱	"	4	故菱田忠義
	カルタをしてあそぶ	写真パネル	1	絵葉書・所蔵：千葉惣次
	独楽であそぶ	"	1	絵双紙・所蔵：千葉惣次
	庭先で手まりをついてあそぶ	"	1	絵葉書・所蔵：千葉惣次
	ひなまつり	"	1	絵双紙・所蔵：千葉惣次
	ひな飾りの前であそぶ	"	1	写真提供：個人
	家族みんなで川遊び	"	1	"
	海水浴	"	1	"
	魚釣りをしてあそぶ	"	1	絵双紙・所蔵：千葉惣次
	おにごっこ	"	1	"
	シャボン玉であそぶ	"	1	"
	シャボン玉あそび	"	1	写真提供：千葉県立大和根博物館・個人
	雪あそびをする子どもたち	"	1	絵双紙・所蔵：千葉惣次
6	語りをあそぶ			
	立版古	実物資料	2式	千葉惣次
	絵双紙・絵本	"	12	"
	絵本	"	3	故菱田忠義
	おもちゃの紙芝居	"	1式	千葉惣次
	お母さんに絵本を読んでもらう	写真パネル	1	写真提供：個人
7	まねる・なりきるあそび			
	指人形	実物資料	1	
	姉様人形	"	3	千葉惣次
	"	"	3	故菱田忠義
	セルロイド製の人形	"	17	千葉惣次
	"	"	1	故菱田忠義
	飯岡人形	"	10	千葉県立上総博物館
	射的の的人形	"	12	千葉惣次

通No.	資料名	種類	点数	所蔵
	ブリキ製の缶詰空缶自動車	"	14	"
	ブリキ製のおもちゃ	"	4	流山市立博物館
	陶器製のままごと道具	"	1式	千葉惣次
	ブリキ製のままごと道具	"	28	"
	ブリキ製のおもちゃ(ミチア)	"	10	"
	紙製の着せ替えセット	"	1式	"
	セルロイド製のお面	"	2	"
	お面の元絵	"	8	"
	風呂敷のマントとおもちゃの鉄砲	"	1式	個人
	江戸からくり人形	復元資料	3	当館
	弟をおんぶしてあそびに行く	写真パネル	1	写真提供：個人
	お人形さんをおんぶして	"	1	"
	家の庭でままごとあそび	"	1	"
	お人形さんをおんぶしてままごとあそび	"	1	"
	はらっぱですもうをとる	"	1	"
	ぼくは強いぞ！ 一刀流だあ！	"	1	"
	道で車を引っ張ってあそぶ	"	1	絵葉書・所蔵：千葉惣次
8	うつつあそび			
	日光写真	実物資料	1式	千葉惣次
	塗り絵	"	7式	"
	塗り絵用クレヨン	"	1式	"
	写し絵	"	8	"
9	チャンスをあそぶ			
	駄菓子屋のくじ	実物資料	1式	千葉惣次
	めくりくじ	"	3	"
	伊勢道中双六	"	1	"
	競輪競馬ゲーム(切抜き組立式)	"	1	"
	ビックリ島探検ゲーム盤	"	1	"
	行軍将棋	"	1式	故妻田忠義
	十二支合わせゲーム	"	2式	千葉惣次
	動物合わせゲーム	"	1式	"
	家族合わせゲーム	"	1式	"
	"	"	1式	故妻田忠義
	菓袋	"	2	千葉惣次
	紙風船(菓広告入り)	"	9	"
	お菓子の箱	"	6	"
	食玩	"	19	"
	おもちゃ袋	"	2	"
	現代の食玩(昭和30年代復刻)	復元資料	20	個人
10	Edo・Tokyoモードのあそび			
	浮世絵	実物資料	4	千葉惣次
	小物袋	"	1	"
	ピンピン鯛	"	2	"
	ちえのわ	"	2	"
	ピンピン鯛であそぶ	写真パネル	1	絵双紙・所蔵：千葉惣次
	千代紙	"	1	資料所蔵：千葉惣次

合計 688

(5) 資料の活用

ア 資料貸与

(7) 長期貸与 (通年・展示)

種類	資料名	員数	貸与先	貸与期間
実物	ダブルモールドボードブラウほか	10点	成田市教育委員会(成田市三里塚御料牧場記念館)	H17.4.1~H18.3.31
実物	日秀西遺跡出土土師器・須恵器・玉・瓦ほか	206点	千葉県立湖北高等学校	H17.4.1~H18.3.31
実物	飯郷作遺跡出土土師器・須恵器・玉ほか	24点	千葉県立佐倉西高等学校	H17.4.1~H18.3.31
実物	矢作貝塚出土骨角器ほか	24点	千葉県立上総博物館	H17.4.1~H18.3.31
実物	城の腰遺跡出土太形蛤刃石斧	1点	市立市川考古博物館	H17.4.1~H18.3.31
実物	城の腰遺跡、中野僧御堂遺跡、大厩遺跡、関戸遺跡、菊間遺跡、築地台貝塚、木の根遺跡、草刈貝塚、矢作貝塚出土土器・石器、人骨・動物遺存体ほか	281点 一括3品	千葉県立中央博物館	H17.4.1~H18.3.31
実物	岩井家旧蔵文書	一括	千葉県立中央博物館	H17.4.1~H18.3.31
実物	滝見台古墳、瓢塚、公津原埴輪窯跡、竜角寺101号古墳、神崎町、江川古墳、姫塚古墳出土埴輪ほか	10点	芝山町教育委員会(町立芝山古墳・はにわ博物館)	H17.4.1~H18.3.31
実物	阿玉台北遺跡、余山貝塚、飯塚貝塚出土土器・石器ほか	17点	千葉県立大利根博物館	H17.4.1~H18.3.31

合計 8機関 573点+一括4品

(イ) 短期貸与 (企画展、出版物等)

種類	資料名	員数	貸与先	貸与期間
実物	石器作りセット	1式	千葉県立上総博物館	H17.4.6~4.15
実物	土練機	1台	佐原市立第五中学校	H17.6.1~6.9
実物	鎌ヶ谷市落山遺跡出土礫	526点	千葉県北西部地区文化財行政担当者連絡協議会『温故知食』	H17.6.25~7.22
実物	「古代の鉄づくり」ビデオ	1点	(財)山武郡市文化財センター	H17.7.3~7.8
実物	出土地不明土器・石器	9点	成田市立中台中学校	H17.6.29~7.2
写真	成田市木の根遺跡出土土偶	1点	(株)雄山閣『日本の先史文化』	H17.7.12~8.31
写真	山中コレクション(絵葉書:下総野田愛極園ほか)	26点	(株)郷土出版社『目で見る野田・流山の100年』	H17.8.4~10.31
実物	四街道市池花南遺跡環状ブロック群出土石器	20点	笠懸野岩宿文化資料館企画展『環状ブロック群』	H17.8.23~12.16
実物	煮沸体験用の土器・木製の蓋	4点	県立関宿城博物館	H17.8.18~8.28
実物・写真	市原市鬼子母神貝塚出土蛇体装飾付深鉢形土器	2点	船橋市飛ノ台史跡公園博物館企画展『縄文世界のオールヌーヴォー』	H17.8.25~12.16
写真	山中コレクション(絵葉書:鴻之台公園ノ眺望ほか)	3点	県立関宿城博物館企画展『高瀬舟物語』	H17.9.13~12.11
写真	成東町真行寺廃寺	2点	成東町歴史民俗資料館『図説成東町のあゆみ』	H17.9.22~9.30

写真	成田市空港No.55遺跡出土局部磨製石斧・千葉市城の腰遺跡住居跡・市原市新皇塚古墳粘土槨	3点	(株)国書刊行会『千葉県歴史100話』	H17.10.1~10.20
写真	多古町南刈当遺跡出土鎌・複製鎌	5点	県立大和根博物館	H17.10.25~11.30
写真	竜角寺銅造薬師如来座像	1点	県立上総博物館『郷土の指定文化財一仏像一』	H17.10.26~11.4
写真	富津市野々間古墳出土資料	一括	聖徳大学	H17.11.19~12.24
実物	佐倉市江原台遺跡・成田市山口遺跡出土銭貨	4点	(財)印旛郡市文化財センター企画展『ウチの土器、ヨソの土器』	H18.1.6~7.14
実物・写真	龍角寺ニュータウン遺跡・林小原子台遺跡	12点	土浦市教育委員会「火葬と古代社会」上高津貝塚ふるさと歴史の広場特別展	H18.1.24~5.17
実物	四街道市池花遺跡・八千代市仲ノ台遺跡出土石器	202点	県立中央博物館『列島展2005』地域展示「氷河時代の旅」	H18.1.11~3.15
写真	復元古代製鉄炉	1点	(財)東京都生涯学習文化財団東京都埋蔵文化財センター『多摩ニュータウン遺跡発掘の40年展』	H18.2.1~3.24
写真	多古町林小原子台遺跡出土鉄製品	1点	土浦市教育委員会「火葬と古代社会」上高津貝塚ふるさと歴史の広場特別展	H18.1.14~4.14
実物	成東町真行寺廃寺出土瓦	2点	古代瓦研究会	H18.1.27~2.1
写真	栄町竜角寺古墳群第101号古墳	5点	芝山町立芝山古墳・はにわ博物館	H18.1.29~2.28
実物・写真	富津市野々間古墳出土資料	25点	府中市郷土の森博物館特別展『飛鳥時代の古墳』	H18.4.4~7.14
写真	山中コレクション(絵葉書:千葉県庁舎ほか)	6点	(株)メディアタージ『エナジー・ヒストリー』テプコ地球館	H18.3.4~3.15
写真	山中コレクション(絵葉書:松戸町ヨリ葛西橋ノ眺望ほか)	2点	(株)エム・シー・アンド・ピー東京オフィス『江戸川の風景今・昔』国交省江戸川河川事務所	H18.3.16~3.31
写真	千葉市東寺山石神2号墳遺物出土状況	1点	(財)千葉県史料研究財団『千葉県の歴史通史編原始・古代1』	H18.3.17~3.31
写真	旧御子神家住宅	1点	(株)山川出版社『千葉県の歴史散歩』	H18.3.31~4.30
写真	風土記の丘資料館外観ほか	3点	(株)デコ『邪馬台国を歩く 比定地50をめぐる旅』	H18.3.

合計 29機関 869点+一括2件

撮影・掲載(広報関係を除く)

種類	資料名	目的	申請機関
資料	白井市復山谷遺跡20号住・谷田神楽場遺跡5号住出土土器	書籍	白井市郷土資料館
資料	「(稲毛)浅間山登り口」(絵葉書)ほか計9点	書籍	(財)千葉県資料研究財団
資料	ナウマン象復元骨格模型写真	書籍	フォトライブラリー(株)N.N.P
資料	ナウマン象復元骨格模型写真	書籍	フォトライブラリー(株)N.N.P
資料	竜角寺古墳101号墳	展示	芝山町立芝山古墳・はにわ博物館
資料	我孫子市日秀西遺跡出土和同開珎銀銭	展示	我孫子市教育委員会

資料	「(庚戌の大洪水)江戸川筋堤防防 御の光景」(絵葉書)ほか計22点	研究	武蔵野台地研究会
資料	「茂原市外諏訪ノ森」(絵葉書)	書籍	(株)昭和堂
資料	「江戸川の棉帆」(絵葉書)	HP	(株)フリップジャパン
資料	『(梅松街開設記念)繁栄を極める梅 松街』(絵葉書)ほか計4点	書籍	(財)千葉県史料研究財団
資料	四街道市池花南遺跡石器出土状 況写真	研究	個人

合計 11件

イ 資料閲覧

種類	資料名	目的	申請機関
図書	『新修国分寺の研究 第4巻』ほか	研究	個人
図書	『豊島区立郷土資料館研究紀要』8 号・『埼玉県立歴史資料館研究紀 要』23	研究	個人
資料	睦沢町浅間山1号墳出土胡ろく	研究	個人
資料	鎌ヶ谷市落山遺跡イモ石礫群	展示	柏市教育委員会
図書	県内発掘調査報告書	研究	個人
図書・ 資料	『三里塚』・市原市菊間遺跡・大厩 遺跡	研究	個人
資料	印西市南西ヶ作遺跡出土石器	研究	個人
資料	四街道市池花遺跡ほか出土石器	研究	個人
資料	千葉市城の腰遺跡出土縄文石器	研究	個人
資料	成田市天王船塚ほか出土経筒	研究	個人
資料	千葉市城の腰遺跡出土鉄剣	卒論	個人
資料	富津市野々間古墳出土鉄製品ほか	展示	府中市郷土の森博物館
図書	『御子神家住宅移築修理工事報告 書』	研究	個人
資料	四街道市池花遺跡旧石器	展示	県立中央博物館
資料	栄町龍角寺ニュータウン遺跡群・多 古町林小原子遺跡出土土器ほか	展示	上高津貝塚ふるさと歴史の広場
資料	東江市油井古塚原31号墳出土銅 鏡	研究	個人
図書	『千葉県立房総風土記の丘年報』ほ か	研究	個人
資料	真行寺廃寺出土瓦	研究	個人
資料	千葉市西屋敷遺跡出土陶磁器	研究	個人
図書	川越市立博物館企画展図録	研究	個人
図書	『千葉県の歴史』ほか	研究	個人
資料	佐原市鴉崎天神台古墳出土石製 模造品ほか	研究	個人

合計 22件

5. 利用者状況

(1) 平成17年度月別入館者数

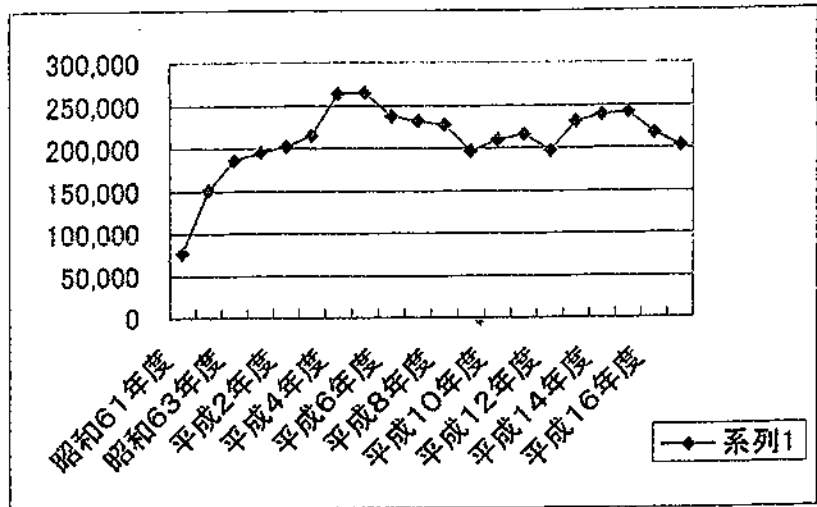
区分	月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計		
個人	開館日数	26	26	26	27	27	25	26	26	23	22	24	26	304		
	有料	計	6,600	10,321	2,903	3,715	4,252	3,892	4,025	4,615	1,611	2,384	2,658	4,098	51,074	
		一般・成人	6,446	9,979	2,811	3,571	4,035	3,759	3,876	4,489	1,562	2,307	2,533	3,926	49,294	
		高・大生	154	342	92	144	217	133	149	126	49	77	125	172	1,780	
	無料	計	15,067	18,533	6,029	6,986	6,500	6,471	8,797	18,895	3,410	3,856	4,718	9,062	108,324	
		一般・成人	346	457	647	443	486	451	695	4,509	450	518	507	561	10,070	
		高・大生	0	2	6	1	1	27	8	47	37	0	4	1	134	
		小・中生	3,715	5,647	1,288	1,708	2,170	1,257	1,753	3,281	618	773	838	2,244	25,292	
		65歳以上	9,825	10,240	3,584	4,157	2,885	3,957	5,665	9,730	2,050	2,121	2,958	5,490	62,662	
		学齢前児童	866	1,791	380	525	810	589	471	1,085	167	326	277	631	7,918	
		心身障害者	315	396	124	152	148	190	205	243	88	118	134	135	2,248	
	個人計①	21,667	28,854	8,932	10,701	10,752	10,363	12,822	23,510	5,021	6,240	7,376	13,160	159,398		
	団体	団体数	45	79	82	40	36	96	148	119	52	113	129	38	977	
		有料	計	284	810	632	415	325	368	685	809	229	705	660	494	6,416
			一般・成人	236	597	538	368	264	348	679	784	229	677	583	490	5,793
高・大生			48	213	94	47	61	20	6	25	0	28	77	4	623	
無料		計	2,221	3,797	4,038	1,608	443	5,562	8,094	5,419	1,737	1,623	1,357	1,056	36,955	
		一般・成人	138	175	306	71	85	282	537	316	111	98	97	31	2,247	
		高・大生	0	60	36	40	13	0	45	310	0	0	29	0	533	
		小・中生	1,806	2,613	2,905	1,153	317	4,317	6,508	3,991	1,395	736	855	441	27,037	
		65歳以上	199	735	525	237	14	747	717	539	221	778	265	502	5,479	
		学齢前児童	2	15	239	14	14	144	276	155	10	11	77	54	1,011	
		心身障害者	76	199	27	93	0	72	11	108	0	0	34	28	648	
団体計②		2,505	4,607	4,670	2,023	768	5,930	8,779	6,228	1,966	2,328	2,017	1,550	43,371		
学校		学校数	32	41	47	16	2	62	98	74	37	15	16	5	445	
		人数	1957	2803	3313	1102	20	4689	6088	4657	1493	685	857	137	27,801	
合計		①+②	24,172	33,461	13,602	12,724	11,520	16,293	21,601	29,738	6,987	8,568	9,393	14,710	202,769	

(2) 平成17年度体験者数

施設	月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
商家		2543	2805	2658	2333	3009	3347	2840	4688	1900	1494	1927	2433	31977
武家屋敷		242	222	197	184	205	193	155	279	183	110	195	216	2381
上総の農家		7	30	638	193	75	26	101	114	46	94	15	18	1357
下総の農家		98	41	131	98	98	186	41	128	91	37	57	83	1089
安房の農家		27	3	39	60	36	36	193	201	64	28	64	17	768
農家共通 ^{注1}		517	317	174	206	46	354	366	501	263	88	52	206	3,090
資料館		396	238	316	300	174	206	297	242	141	121	64	58	2553
総屋		111	118	57	160	5	237	501	658	90	60	131	0	2128
企画展								471	394					865
春のまつり・秋のまつり		0	4800					420	156					5376
月別体験者数		3,941	8,574	4,210	3,534	3,648	4,585	5,385	7,361	2,778	2,032	2,505	3,031	51,584
内訳	当日体験	2651	6909	2093	2122	2671	2034	2685	3928	1362	1249	1272	2123	31,099
	予約体験	673	708	754	908	877	579	614	934	598	399	642	688	8,374
	団体体験	617	957	1363	504	100	1972	2086	2499	818	384	591	220	12,111

注1 「農家共通」は、「夏休み親子宿泊」「縄ない」「風車作り」及び「団体体験」である。

年 度	入館者数
昭和61年度	76,732
昭和62年度	151,068
昭和63年度	186,139
平成元年度	195,365
平成2年度	201,928
平成3年度	214,981
平成4年度	264,381
平成5年度	265,532
平成6年度	237,231
平成7年度	232,393
平成8年度	227,256
平成9年度	197,112
平成10年度	210,096
平成11年度	216,242
平成12年度	196,743
平成13年度	230,985
平成14年度	238,926
平成15年度	241,739
平成16年度	217,807
平成17年度	202,769
計	4,205,425



V 友の会活動

1. 名 称

房総のむら友の会

2. 発足経緯

平成16年4月1日「千葉県立房総風土記の丘」と「千葉県立房総のむら」の統合に伴い「房総風土記の丘友の会」から「房総のむら友の会」へ名称の変更及び規則改正等が平成16年7月31日の総会により承認された。

3. 目 的

本会は、房総のむらの活動に協力し、また博物館の諸活動を通して会員相互の教養の向上と親睦を図ることを目的とする。

4. 事 業

本会は、上記目的を達成するため次の事業を行う。

- (1) 研究会、見学会及び展覧会等の開催
- (2) 会報誌等の刊行
- (3) 房総のむらが行う調査、資料収集、整理、教育普及活動等についての協力と支援
- (4) 関係資料の頒布
- (5) その他本会の目的を達成するために必要な事業

5. 会員数

区 分	栄 町	成田市	その他県内	県 外	計
普通会員	33	25	33	1	92
賛助会員	1	4	1	1	7

6. 活動状況

- (1) 文化活動鯉のぼり掲揚 4月20日(水)
- (2) 平成17年度総会 9月4日(日)
- (3) ふるさと祭り実行委員会及び関係者会議 9月22日(木)
- (4) 第29回ふるさと祭り 11月3日(木・祝)文化の日 参加14団体 来場者数11,657人
- (5) 臨時総会 3月19日(日)
- (6) 利用者サービス事業 埴輪等の販売 栄町ドラムの里内、房総のむら売店
- (7) 見学案内活動等 随時実施

千葉県立房総のむら 年報 20 - 平成 17 年度 -

発行日	平成 18 年 6 月 30 日
編集・発行・印刷者	千葉県立房総のむら 指定管理者 財団法人千葉県教育振興財団 房総のむら

〒270-1506 千葉県印旛郡栄町竜角寺1028 電話0476-95-3333